

学生による授業評価

授業評価アンケート報告書
－ 2018（平成 30）年度春学期調査 －

2018（平成 30）年

横浜商科大学

I R 委員会

学務本部

目 次

I. 調査の概要	1
II. 質問項目別調査結果（学科学年別単純集計）	4
III. 付録：分析別グラフ	28
1. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（学科別）	
2. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（科目プログラム別）	
3. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（学年別）	
4. 設問 17：総合満足度別評価点分布（春学期）	
5. 設問 10：授業外学修時間別評価点分布（春学期）	
6. 設問 10：科目プログラム別 授業外学修時間別評価点分布（春学期）	
IV. 分冊：設問 18：自由記述（良かった点、改善すべき点）	1-25

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本学における学生による授業評価アンケートは、その実施を通じて講義を受講している学生が講義に対してどのような点で満足し、どのような点で不満を持っているのかを知る材料を収集し、それを各教員にフィードバックすることで授業改善に役立てることを目的としている。

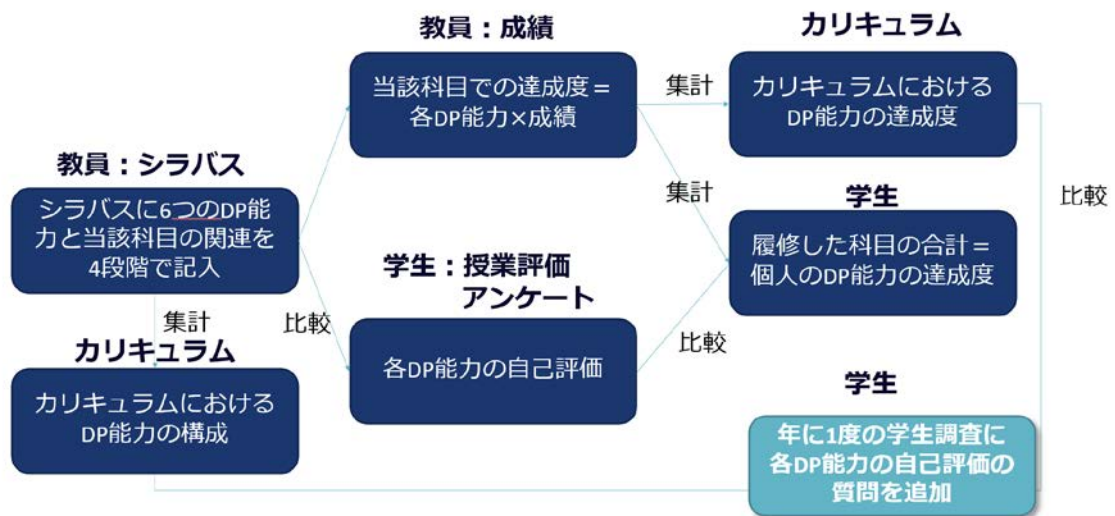
全学的な授業評価アンケート調査は 2002 年度から開始し、2008 年度までは毎年実施してきたが、それ以降は隔年実施となり 2010 年度に第 8 回、2012 年度に第 9 回の調査を実施してきた。

2014 年度から学生向けポータルである「商大 Web 情報システム」（製品名：UNIVERSAL PASSPORT: UNIPA）を導入したのにあわせ、同年度後期から従来は質問紙を用いて授業評価アンケートを実施していたものから、UNIPA のアンケート機能を利用した Web 調査に切り替えて実施することになった。その結果、授業評価を実施した教員は UNIPA の画面上で担当科目のアンケート結果を確認できるようになった。学生は UNIPA にログインして回答することからシステム上は回答者を把握することができるが、学生にはあらかじめ授業評価の結果を学生の不利益になることには使わないことを告知して回答してもらっている。

2015 年度からは春学期、秋学期の両学期末に調査を実施することとし、また秋学期からは同年度夏に設置された IR 室と学生総合センターとで協力して実施する体制に改められ現在に至る。同じく 2015 年度からは総合満足度の設問で 3.7 点以下、あるいは個別の設問で 3.5 以下の授業評価があった教員には、学生満足度の向上を目的として「講義改善計画書」を学生総合センターに提出していただき授業改善に役立てている。授業評価アンケートと直接に関連してはいないが、2014 年度からは学内向けの FD プログラムの実施も始まり¹、授業改善にむけて総合的な取り組みが全学的に実施されている。2018 年度からは組織変更で IR・情報メディア部 IR 課となり、学生総合支援部教務課との実施となって現在に至る。

現在、横浜商科大学ではディプロ・マポリシーに掲げた 6 つの能力・スキルの達成状況を点検・評価するためにシラバス、成績、授業評価アンケート、学生調査を連動した質保証システムの構築に取り組んでいる。そこで 2017 年度からは授業評価アンケートを「横浜商科大学質保証システム」の一部に組み込むこととし、上述の FD プログラムの内容を反映した「シラバス作成の手引き」を学生総合センターで作成して全教員に配布した。すべての授業のシラバスにおいて教員はまず、当該授業と 6 つの DP 能力を関連させた目標値を 4 段階で評価して記入する。この情報が学生の履修時の参考情報の 1 つとなる。次に学期末の授業評価アンケートにおいて、学生は「この授業で、幅広い教養とモラル（倫理）や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できましたか」といった DP 能力の修得を問う 6 つの質問に回答することで、自己評価を行う。2016 年度から年に 1 回実施する学生調査においても同様の設問を設置している。

¹ 2014 年度にはルーブリック、2015 年度にはシラバス・ライティング、2016 年度には 3 ポリシーの作成と一貫性構築手法、Google Classroom の利用法といった内容が実施された。



図表 1 横浜商科大学質保証システム概念図

2. 授業評価アンケートの方法

(1) 実施日時

秋学期の第13週から第15週（2018年7月5日～2018年7月25日）

（夏休み中に実施する集中講義については、それぞれの授業終了後に実施）

(2) 対象科目

休暇期間中の集中講義及び教職科目を含むすべての開講科目

(3) 調査項目

上記質保証システムの構築にあわせ IR 委員会にて調査項目を再検討した。その結果、旧設問項目で相関係数の高い設問項目はいくつか整理、削除し、授業難易度を問う設問と、6つの DP スキルの達成度を問う設問を追加し、全部で 18 問とした。

- ① 属性情報 (Q1～Q2)
- ② 受講した授業について (Q3～Q9)
- ③ 予習・復習時間について (Q10)
- ④ DP スキルの修得について (Q11～Q16)
- ⑤ 総合満足度 (Q17)
- ⑥ 自由記述 (Q18)

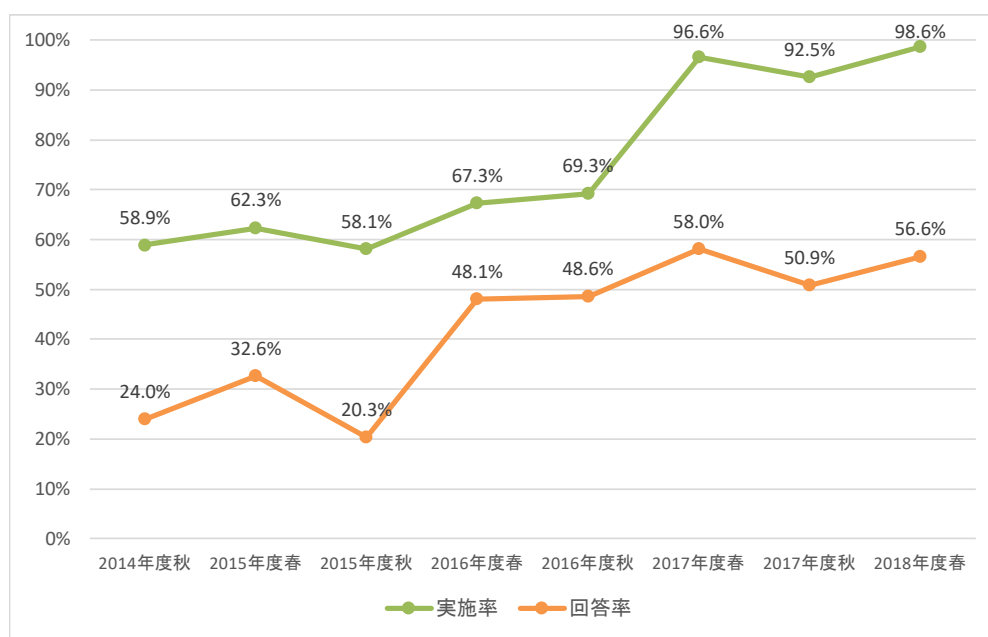
(4) 調査方法

商大 WEB 情報システム (UNIPA) のアンケート機能を使って、学生がスマートフォン、ノート PC から回答。回答は強制ではなく任意となっている。2016 年度からは回答率向上を目的に、教員に授業内で 10 分程度時間をとって教室内で回答するように学生に指示するよう学生総

合センターから依頼した。2017年度からは授業評価アンケートが質保証システムの一部であることを教授会で事前に説明し、授業内での実施を強く呼びかけた。その結果、2017年度春学期実施の授業評価アンケートから実施率、回答率ともに大きく上昇したが、秋学期にはやや減少した。2018年度春学期においては前年度秋学期より実施率、回答率ともにやや回復した。現在の形式になってから2年目となり回答率が低下することが心配されたが、2017年度春学期の回答率58.0%が56.6%となり微減にとどまった。

3. 実施結果

	開講授業数	実施授業数	実施率	総履修者数	回答者数	回答率
2014年度秋	343	202	58.9%	11,027	2,647	24.0%
2015年度春	353	220	62.3%	12,309	4,016	32.6%
2015年度秋	329	191	58.1%	10,640	2,157	20.3%
2016年度春	364	245	67.3%	12,985	6,240	48.1%
2016年度秋	345	239	69.3%	11,375	5,528	48.6%
2017年度春	385	372	96.6%	13,522	7,848	58.0%
2017年度秋	389	360	92.5%	11,885	6,044	50.9%
2018年度春	363	358	98.6%	13,569	7,679	56.6%



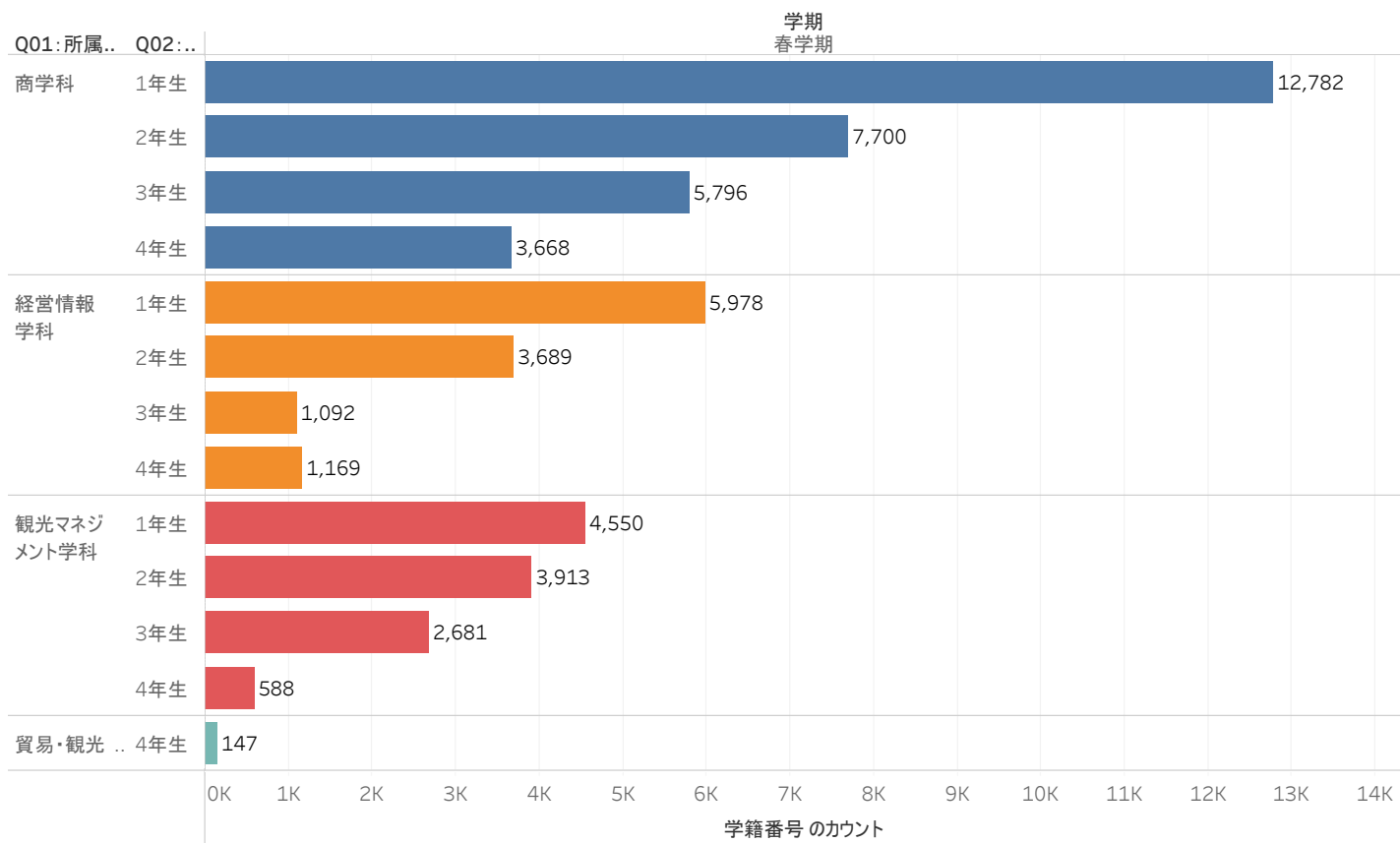
図表2 授業評価アンケート実施授業率・回答学生率の推移

4. 調査結果

「Ⅱ. 質問項目別調査結果」を参照

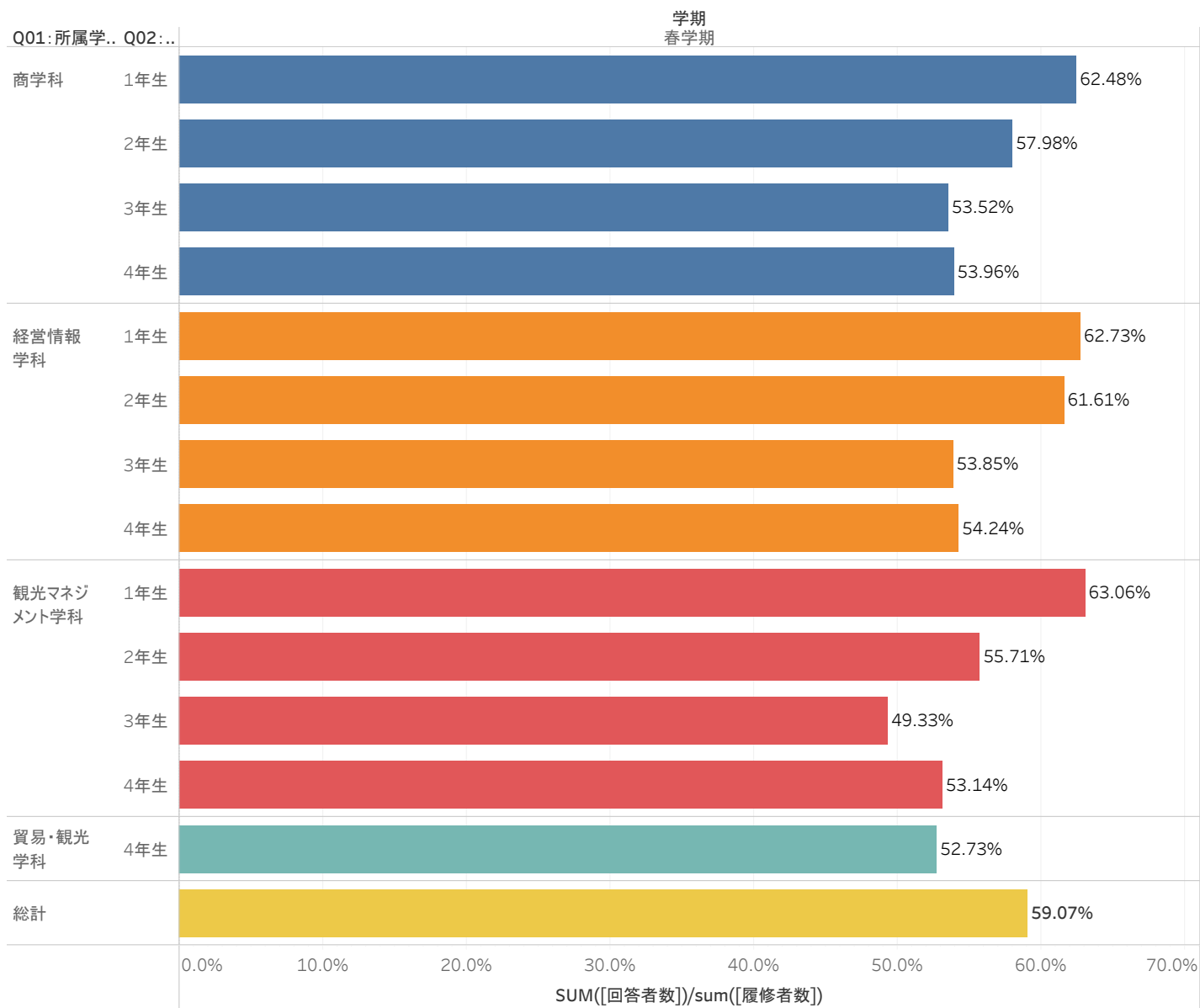
Ⅱ. 質問項目別調査結果 (学科学年別単純集計)

Q01:所属学科・Q02:在籍学年別 延べ回答者数



- Q01:所属学科
- 商学科
 - 経営情報 学科
 - 観光マネジ メント学科
 - 貿易・観光 学科

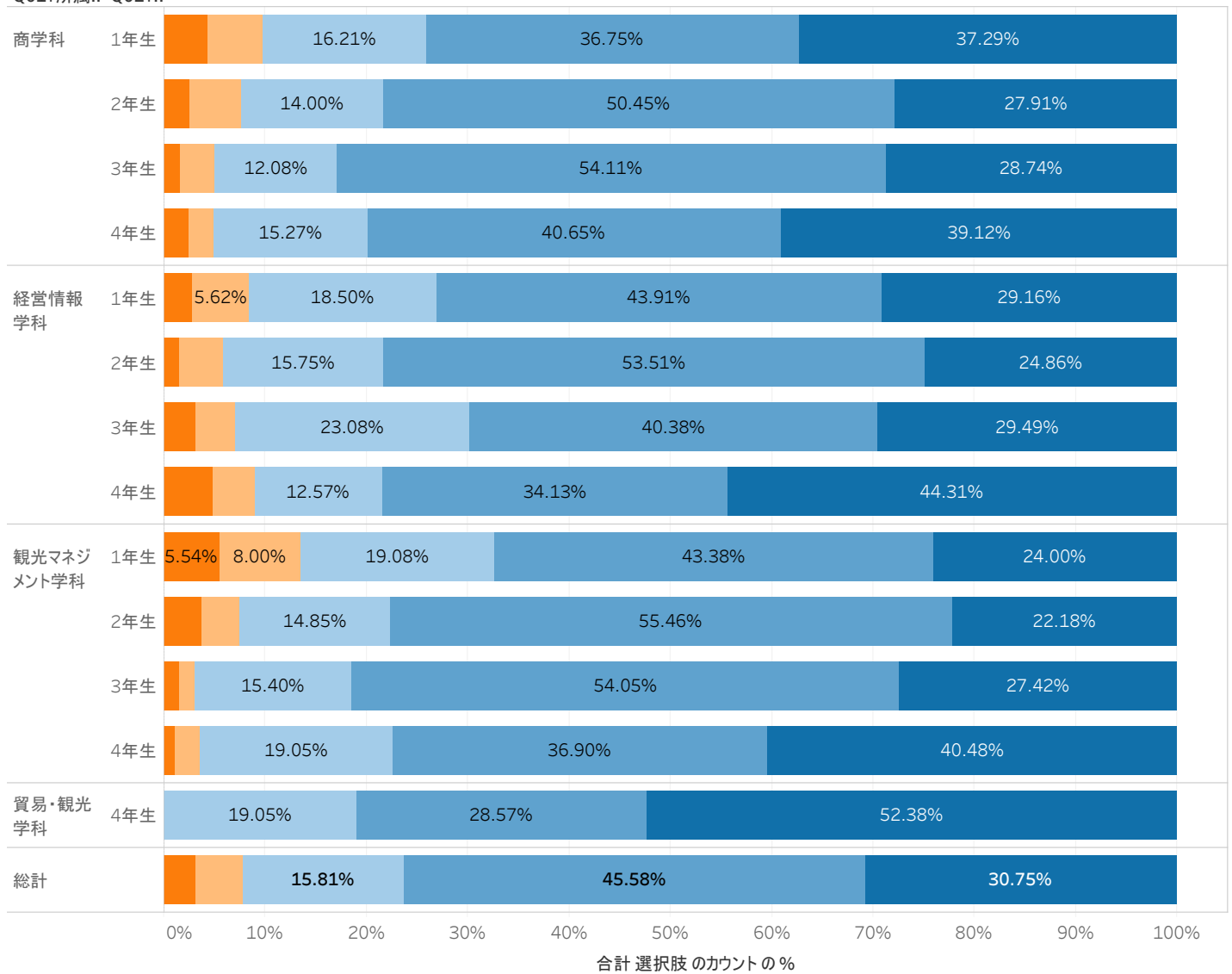
Q01:所属学科・Q02:在籍学年別 回答率



- Q01:所属学科
- 商学科
 - 経営情報 学科
 - 観光マネジ メント学科
 - 貿易・観光 学科
 - 総計

Q03: この授業の難易度は適切だ

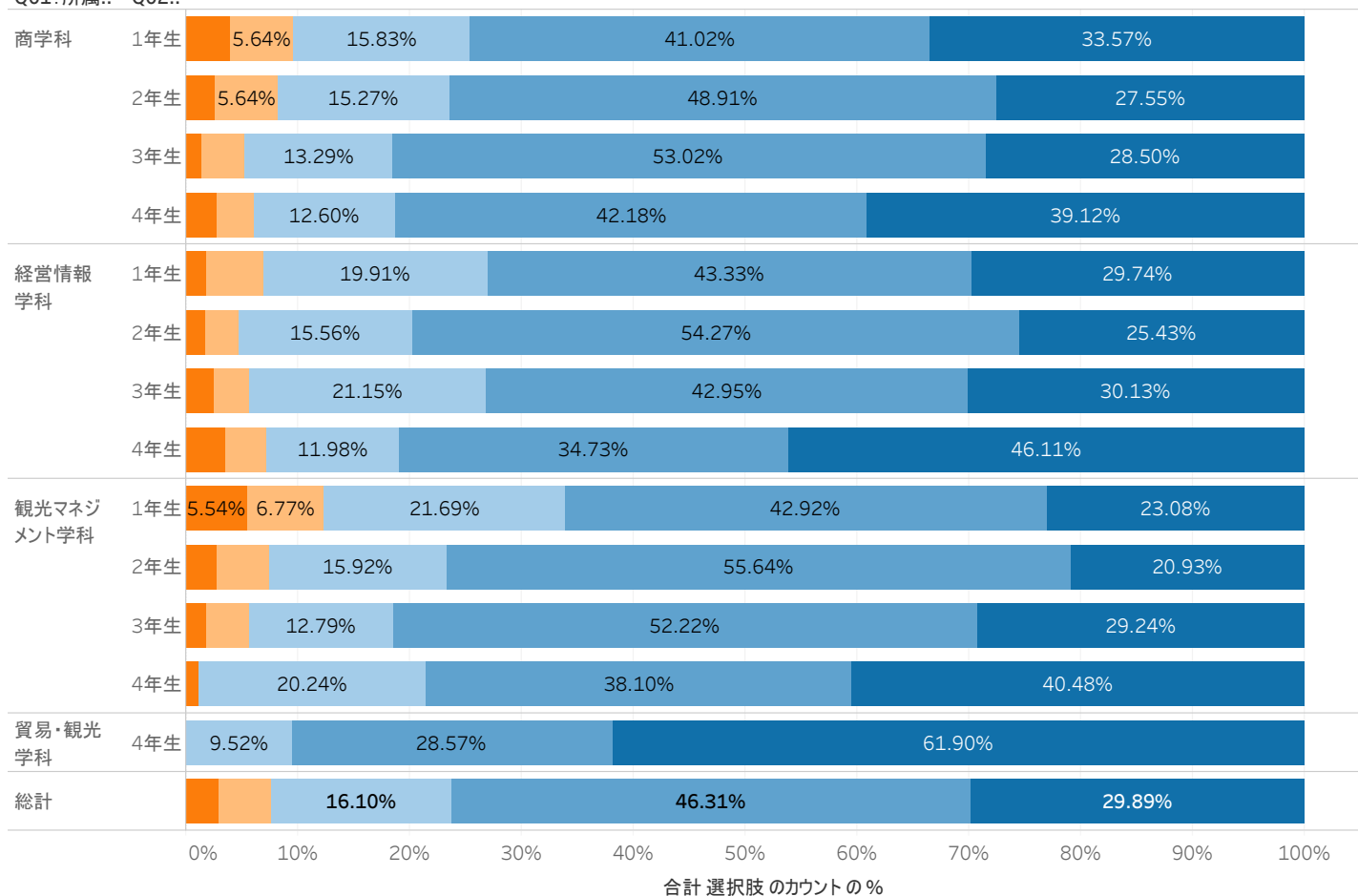
Q01: 所属.. Q02: ..



- 選択肢
- とてもそう思う
 - そう思う
 - どちらともいえない
 - そう思わない
 - まったくそう思わない

Q04:この授業の学習内容の分量は適切だ

Q01:所属.. Q02..

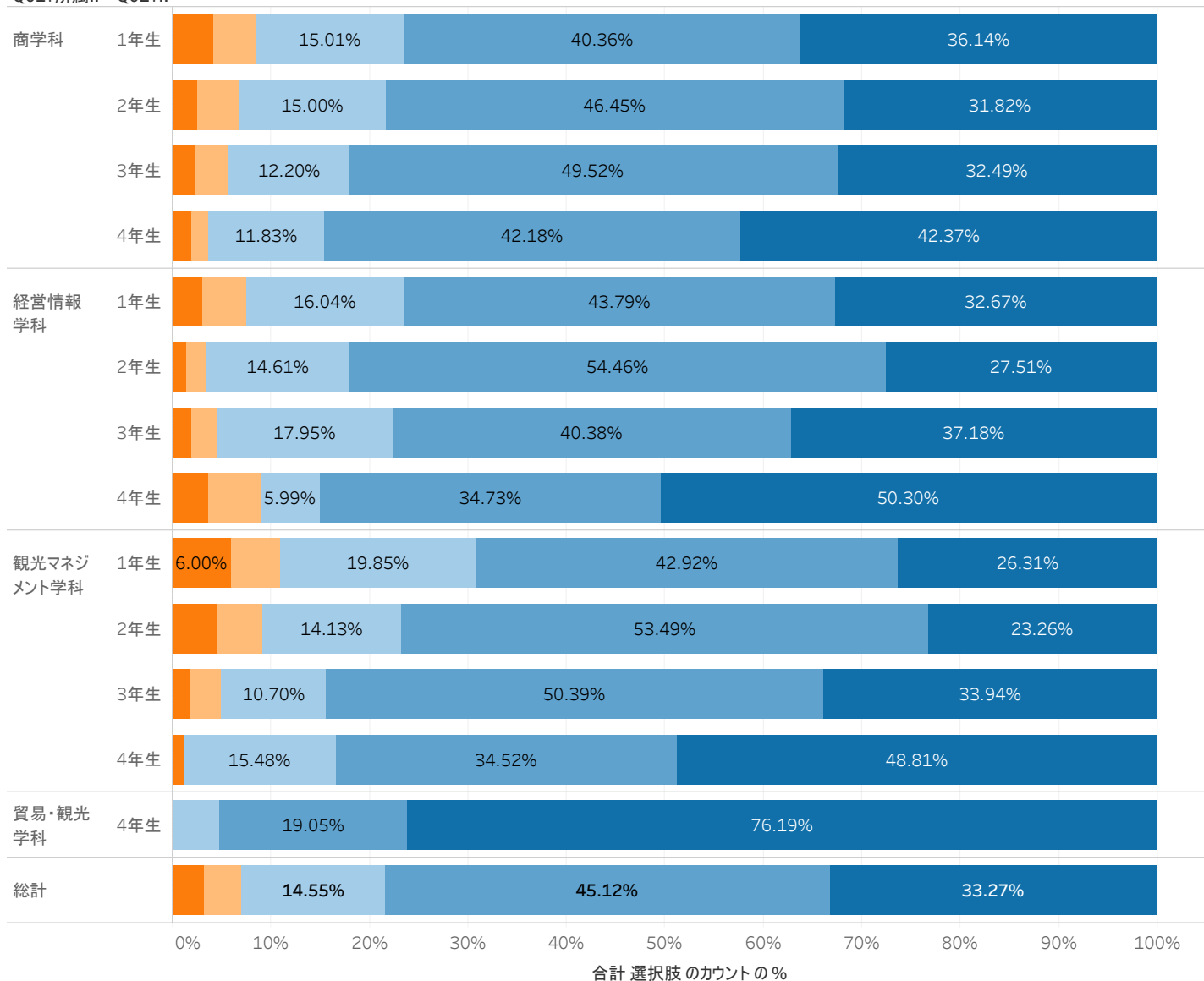


選択肢

- とてもそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- まったくそう思わない

Q05:教員は学生の理解を深めるための配慮・工夫をしていた

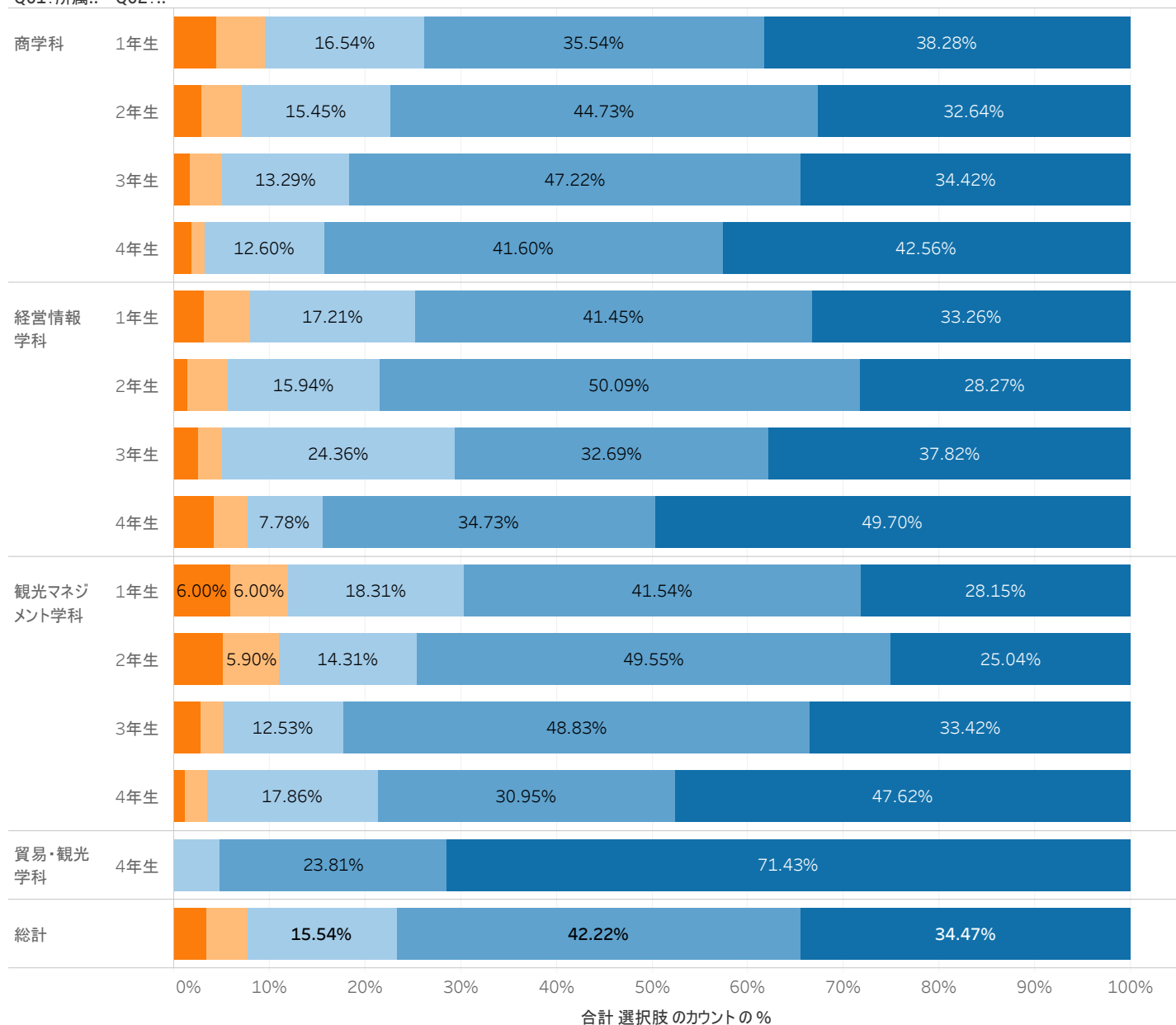
Q01:所属.. Q02:...



- 選択肢
- とてもそう思う
 - そう思う
 - どちらともいえない
 - そう思わない
 - まったくそう思わない

Q06:教員の話し方・説明の仕方は分かりやすかった

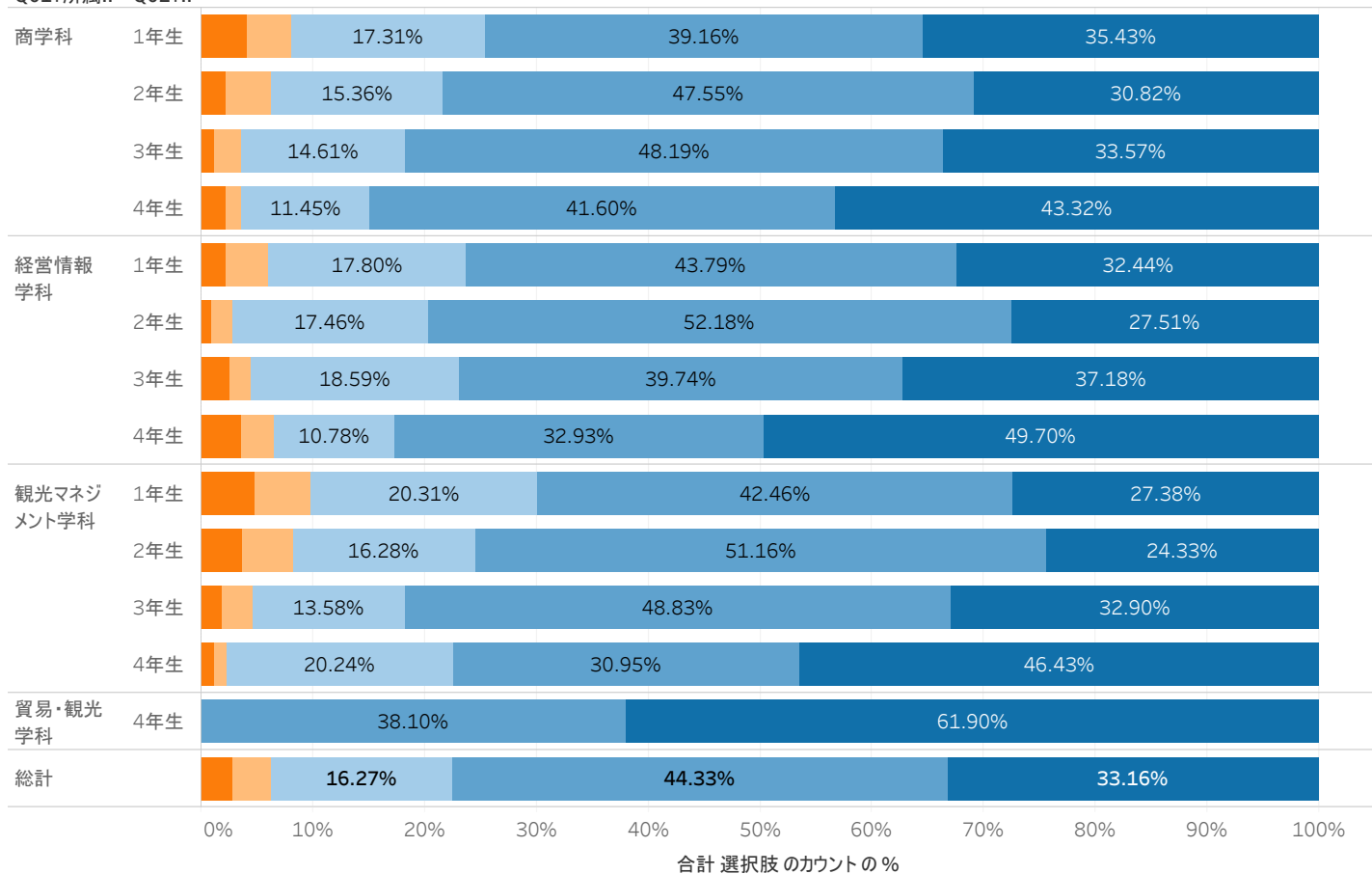
Q01:所属.. Q02:..



- 選択肢
- とても思う
 - そう思う
 - どちらともいえない
 - そう思わない
 - まったく思わない

Q07:教科書や配布資料等は理解の助けになった

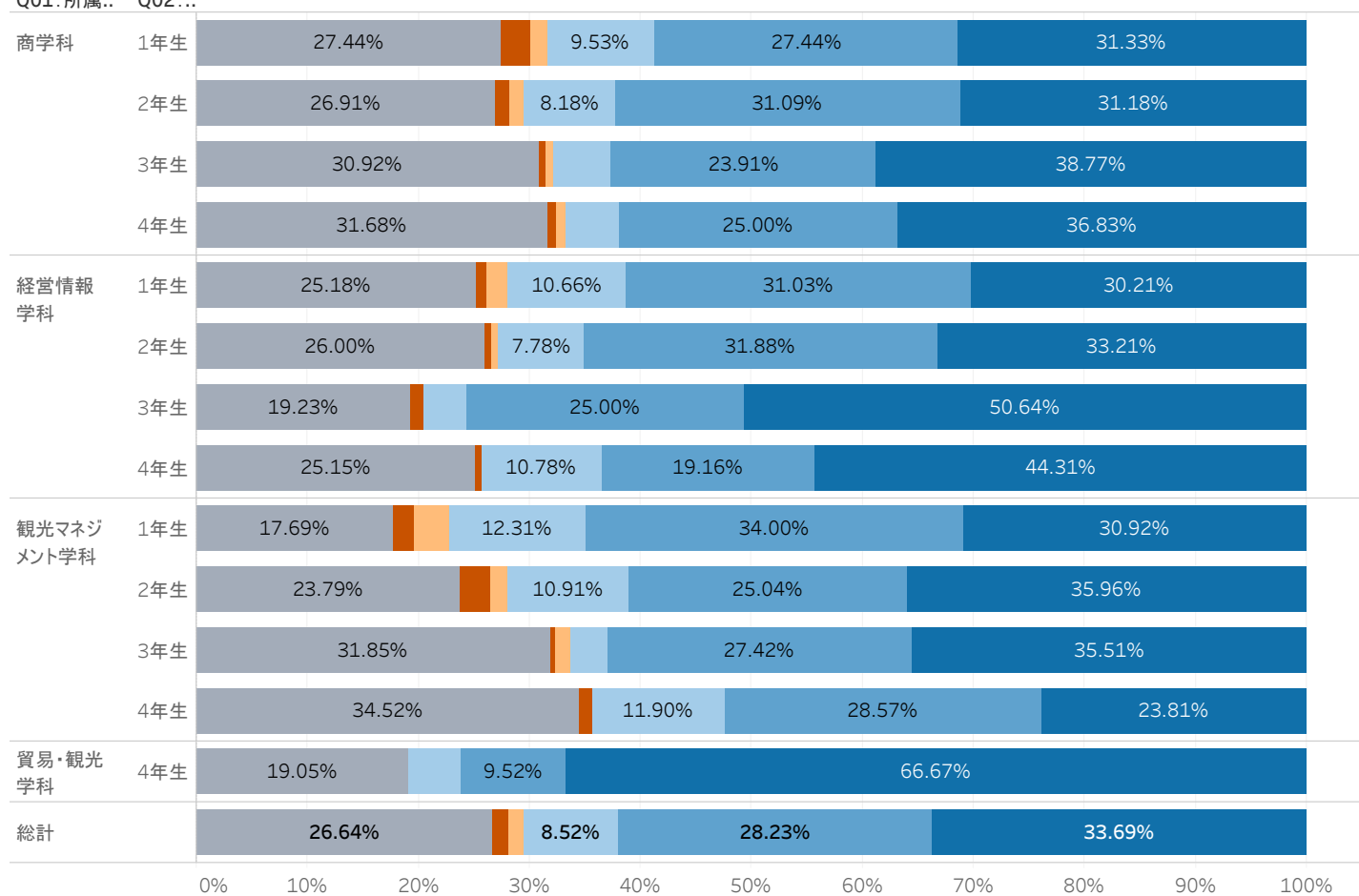
Q01:所属.. Q02:...



- 選択肢
- とてもそう思う
 - そう思う
 - どちらともいえない
 - そう思わない
 - まったくそう思わない

Q08: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた

Q01: 所属.. Q02:...



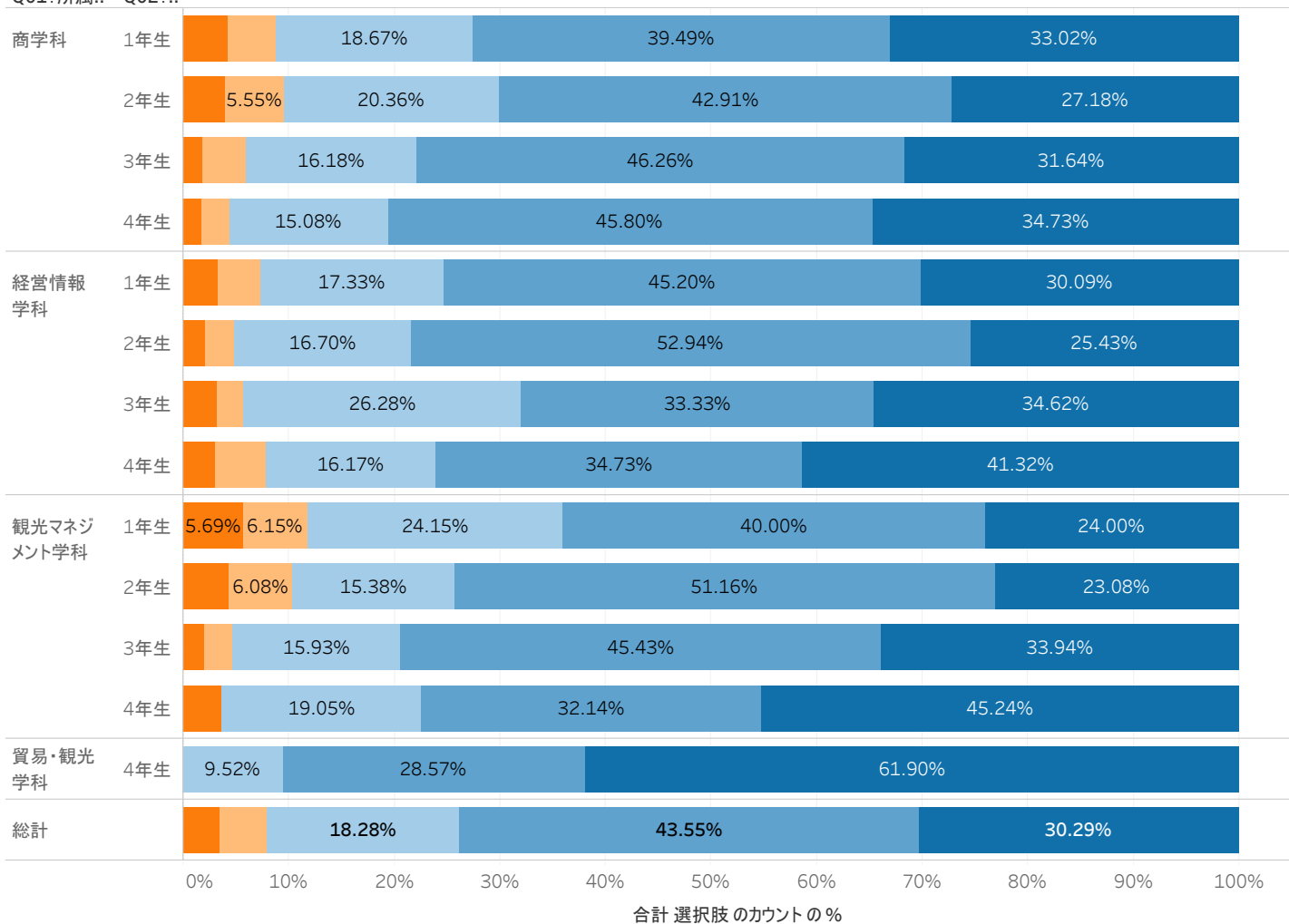
合計 Q08: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた のカウントの %

Q08: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた

- とてもそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- まったくそう思わない
- シラバスは読まなかった

Q09:教員は学生とのコミュニケーション(口頭やインターネット上で質問を受ける、ディスカッションの機会を設ける等)に配慮していた

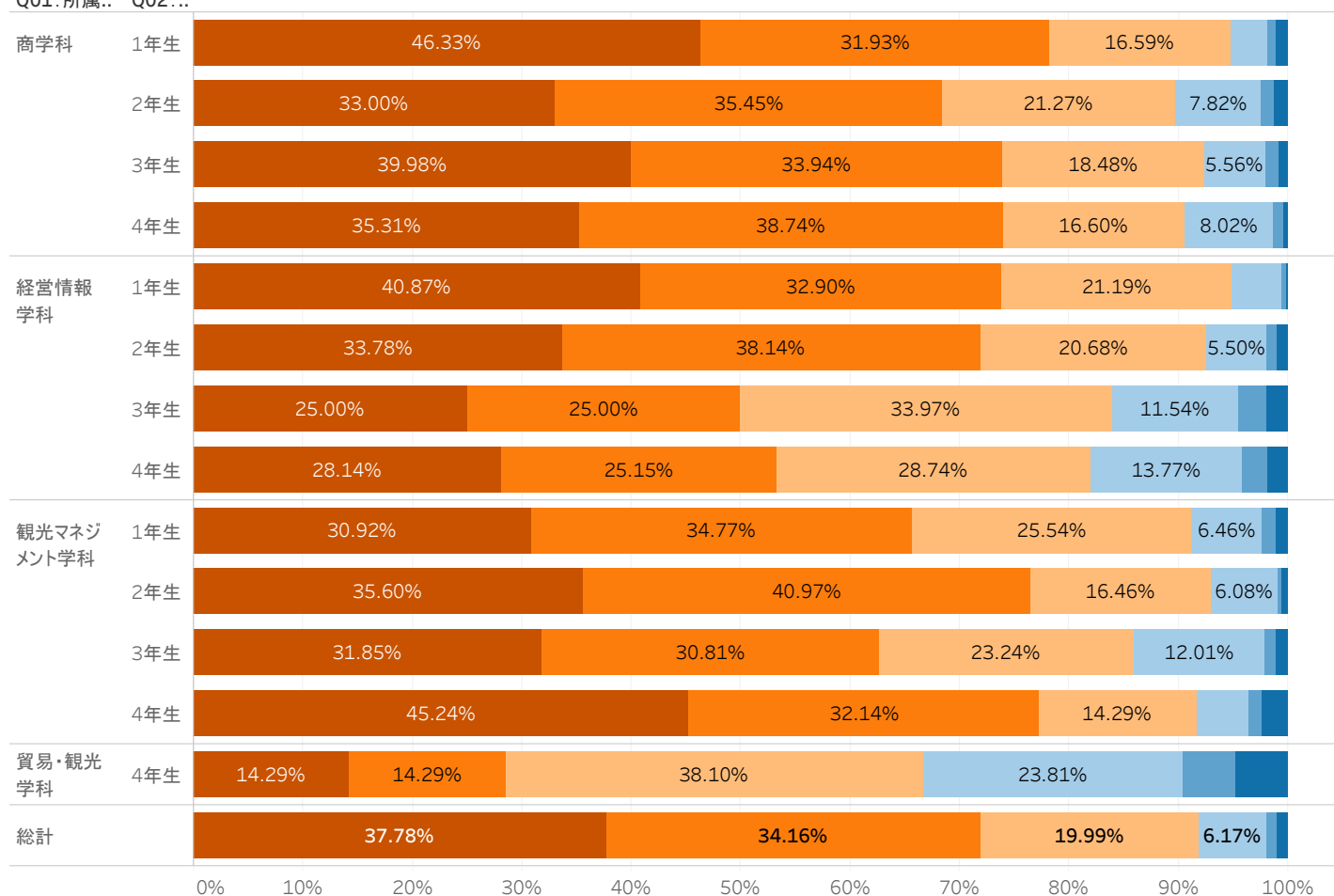
Q01:所属.. Q02:...



- 選択肢
- とてもそう思う
 - そう思う
 - どちらともいえない
 - そう思わない
 - まったくそう思わない

Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は？

Q01:所属.. Q02:...

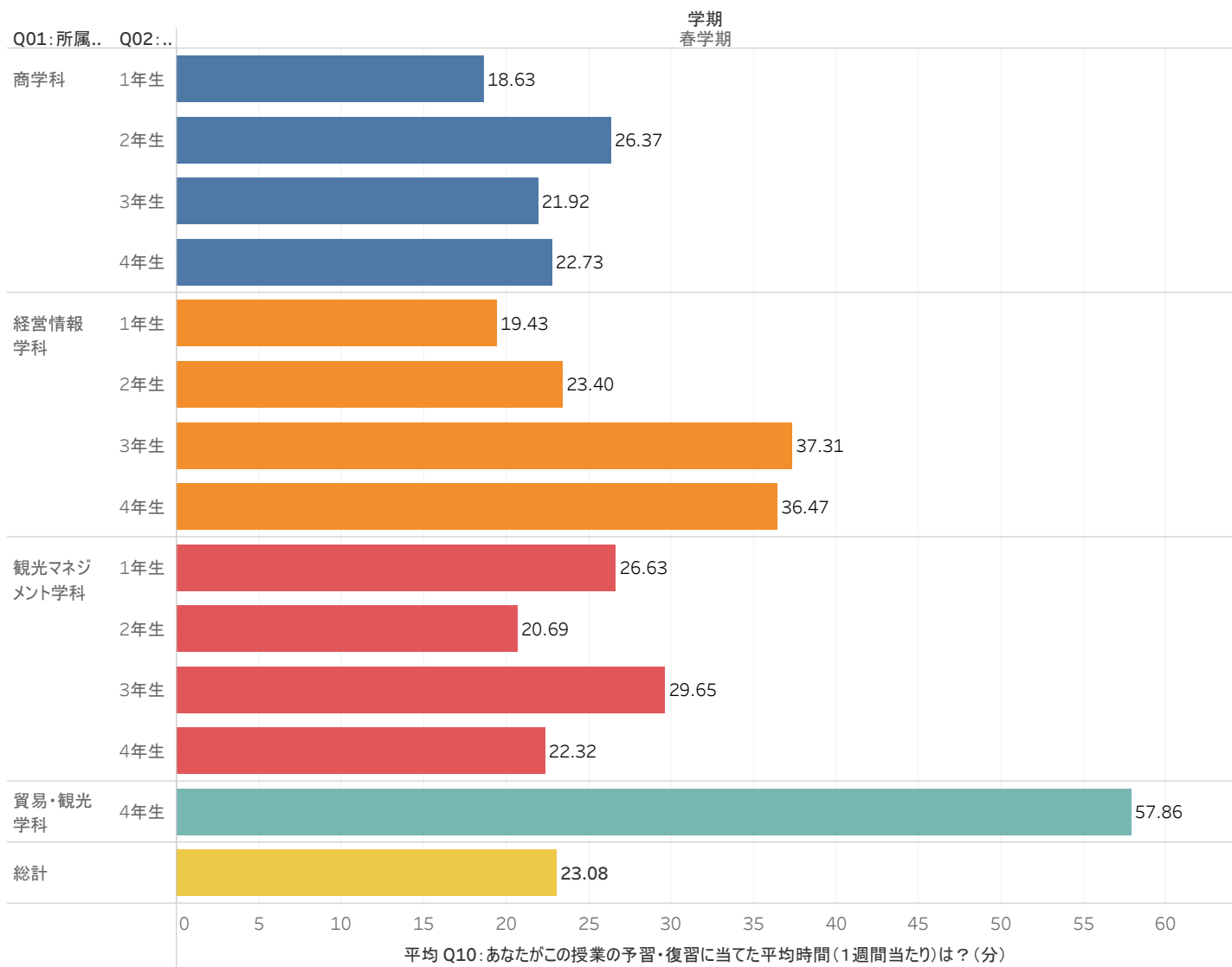


合計 Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は？ のカウントの%

Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は？

- 3時間以上
- 2時間~3時間未満
- 1時間~2時間未満
- 30分~1時間未満
- 30分未満
- 全くしなかった

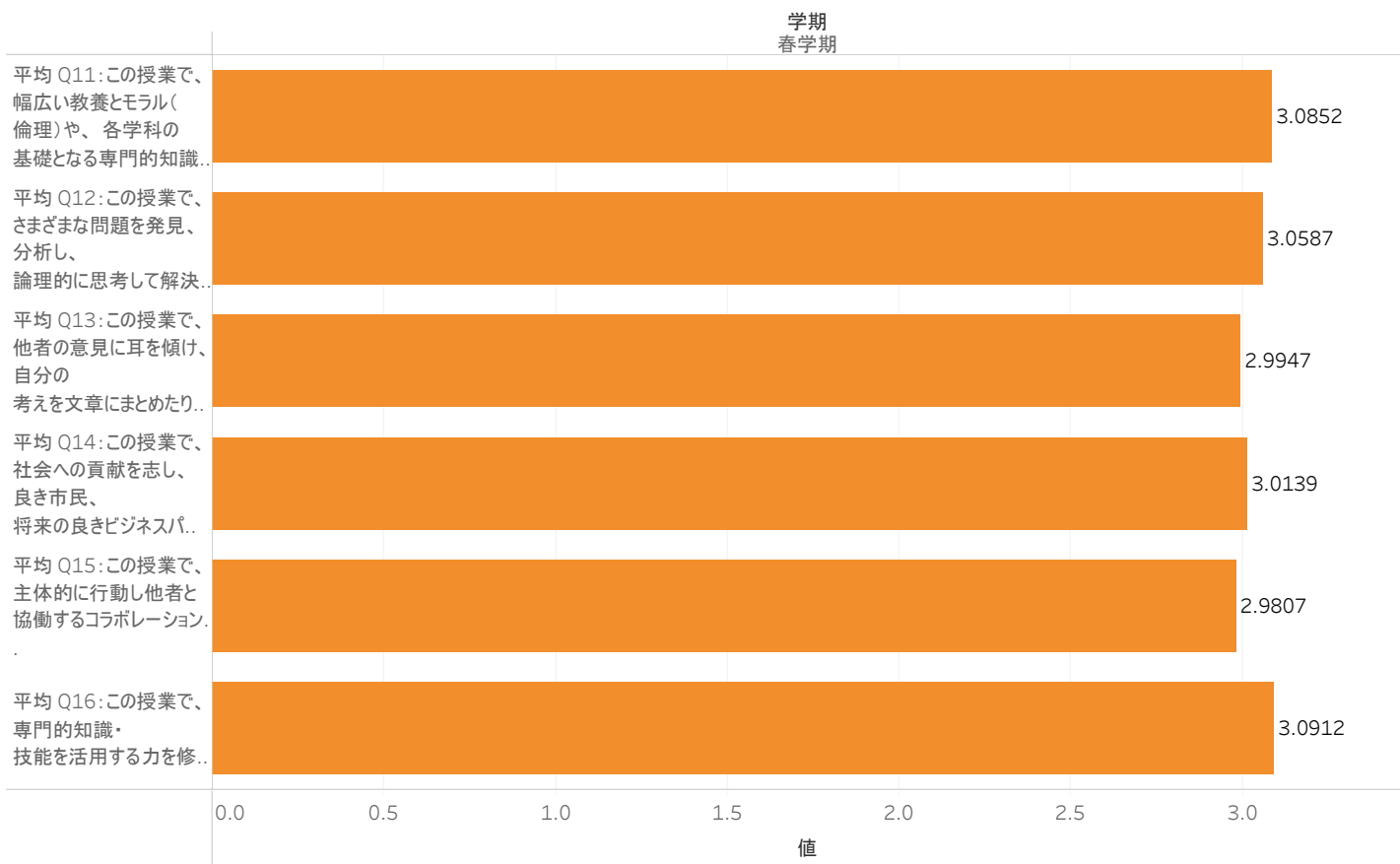
Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は？(分単位)



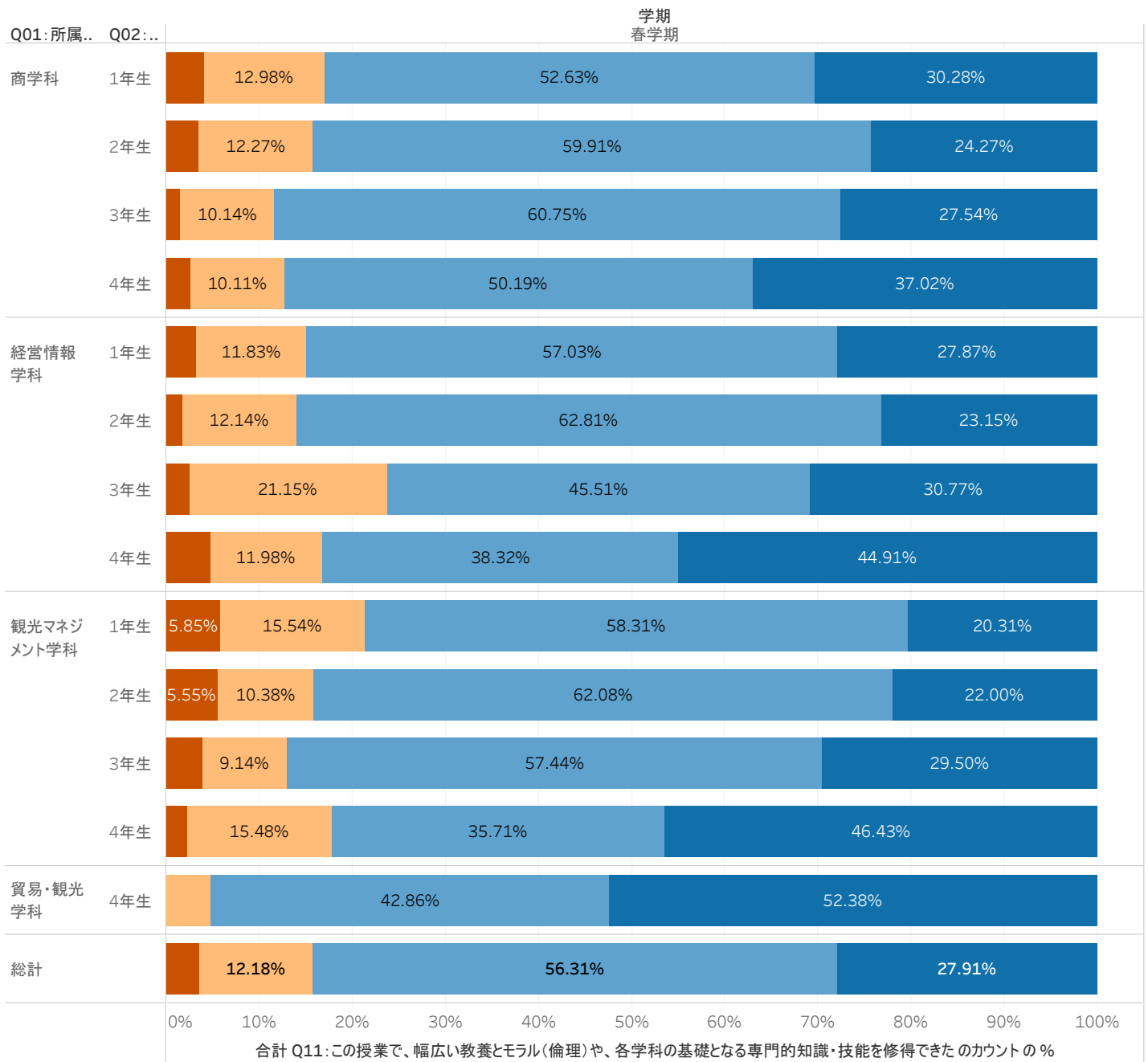
Q01:所属学科

- 商学科
- 経営情報 学科
- 観光マネジ メント学科
- 貿易・観光 学科
- 総計

Q11-Q16: ディプロマ・ポリシー



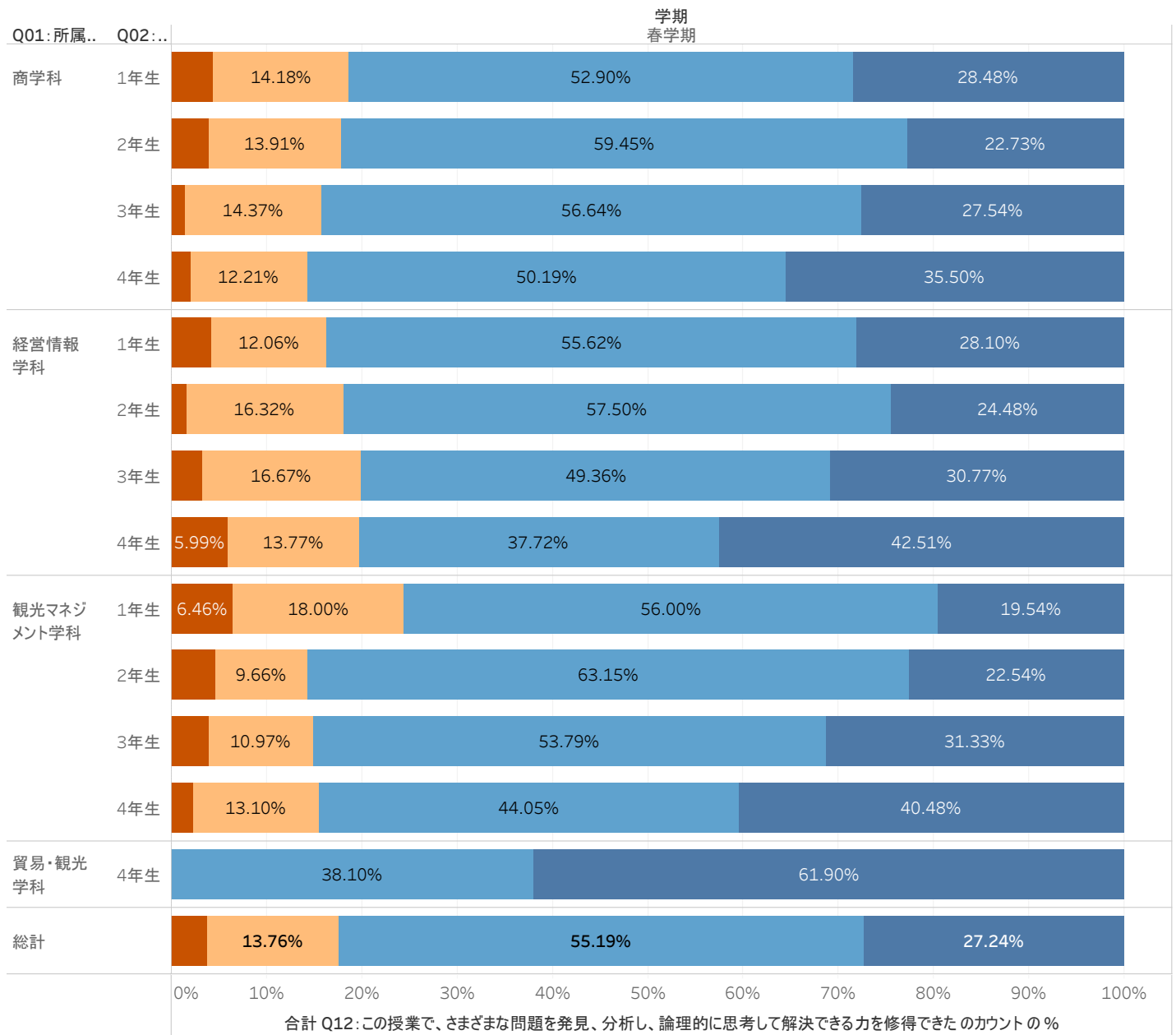
Q11:この授業で、幅広い教養とモラル(倫理)や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できた



Q11:この授業で、幅広い教養とモラル(倫理)や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できた

- とてもそう思う
- そう思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

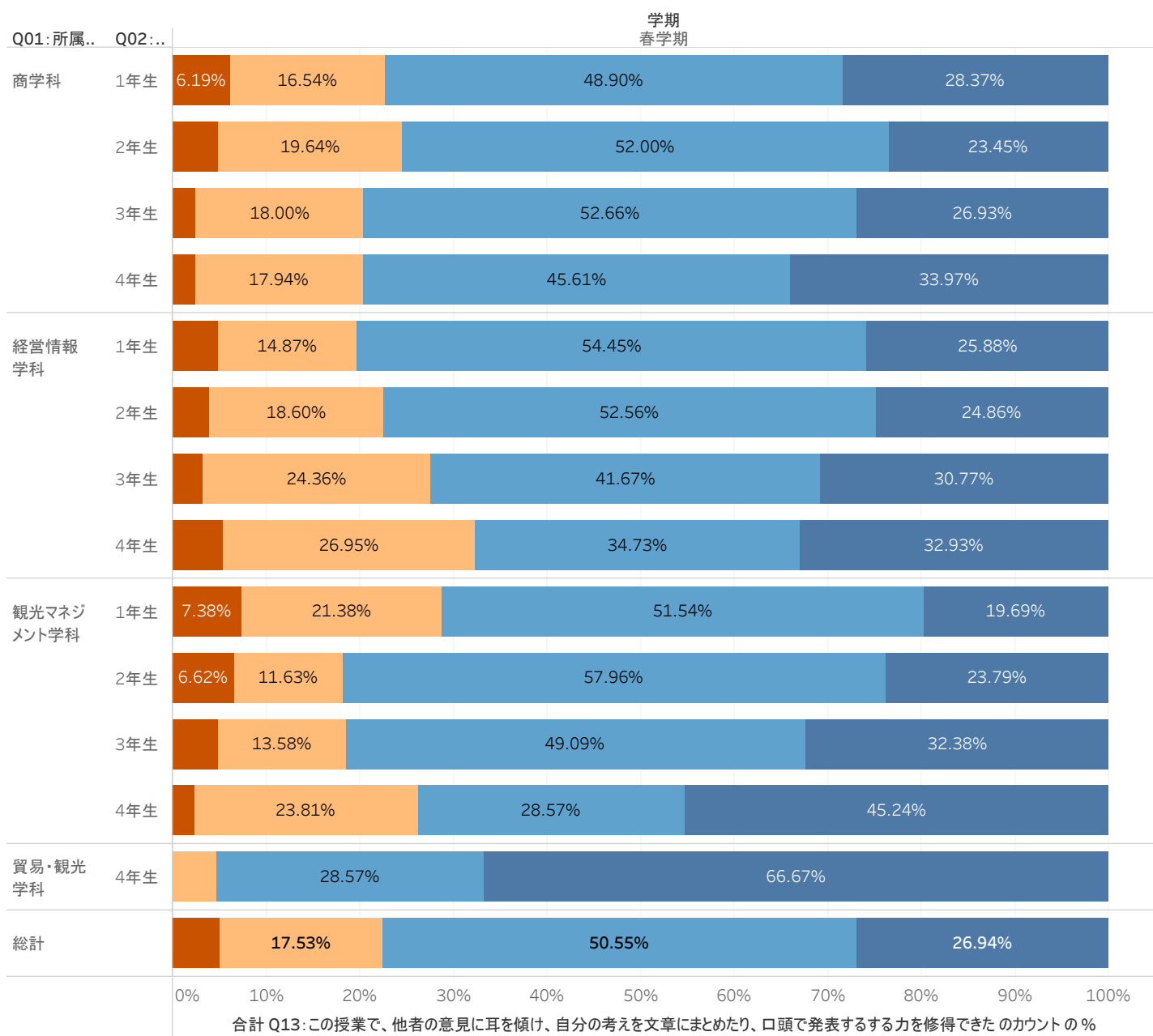
Q12:この授業で、さまざまな問題を発見、分析し、論理的に思考して解決できる力を修得できた



Q12:この授業で、さまざまな問題を発見、分析し、論理的に思考して解決できる力を修得できた

- とてもそう思う
- そう思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

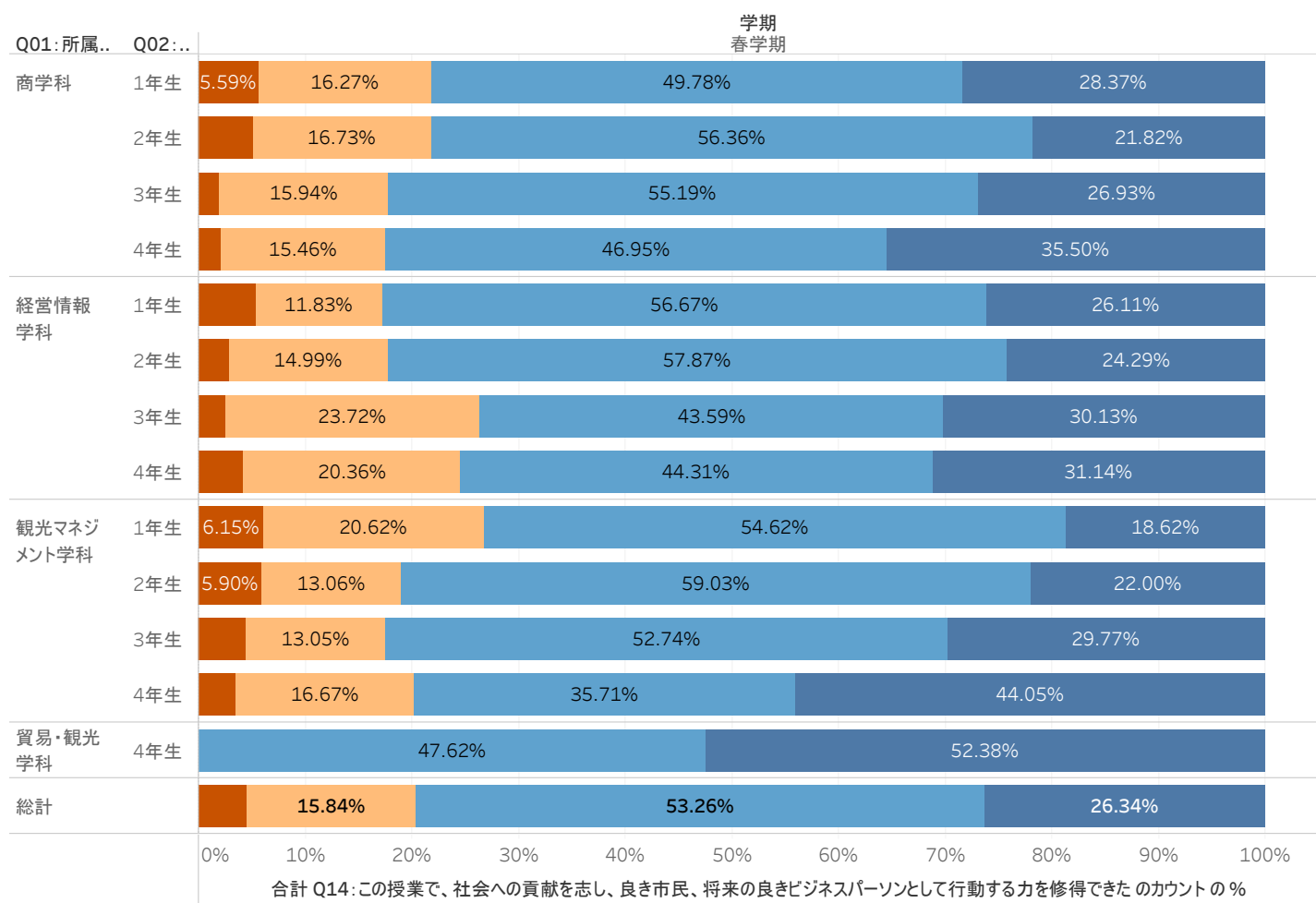
Q13:この授業で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表する力を修得できた



Q13:この授業で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表する力を修得できた

- とても思う
- そう思う
- そう思わない
- まったく思わない

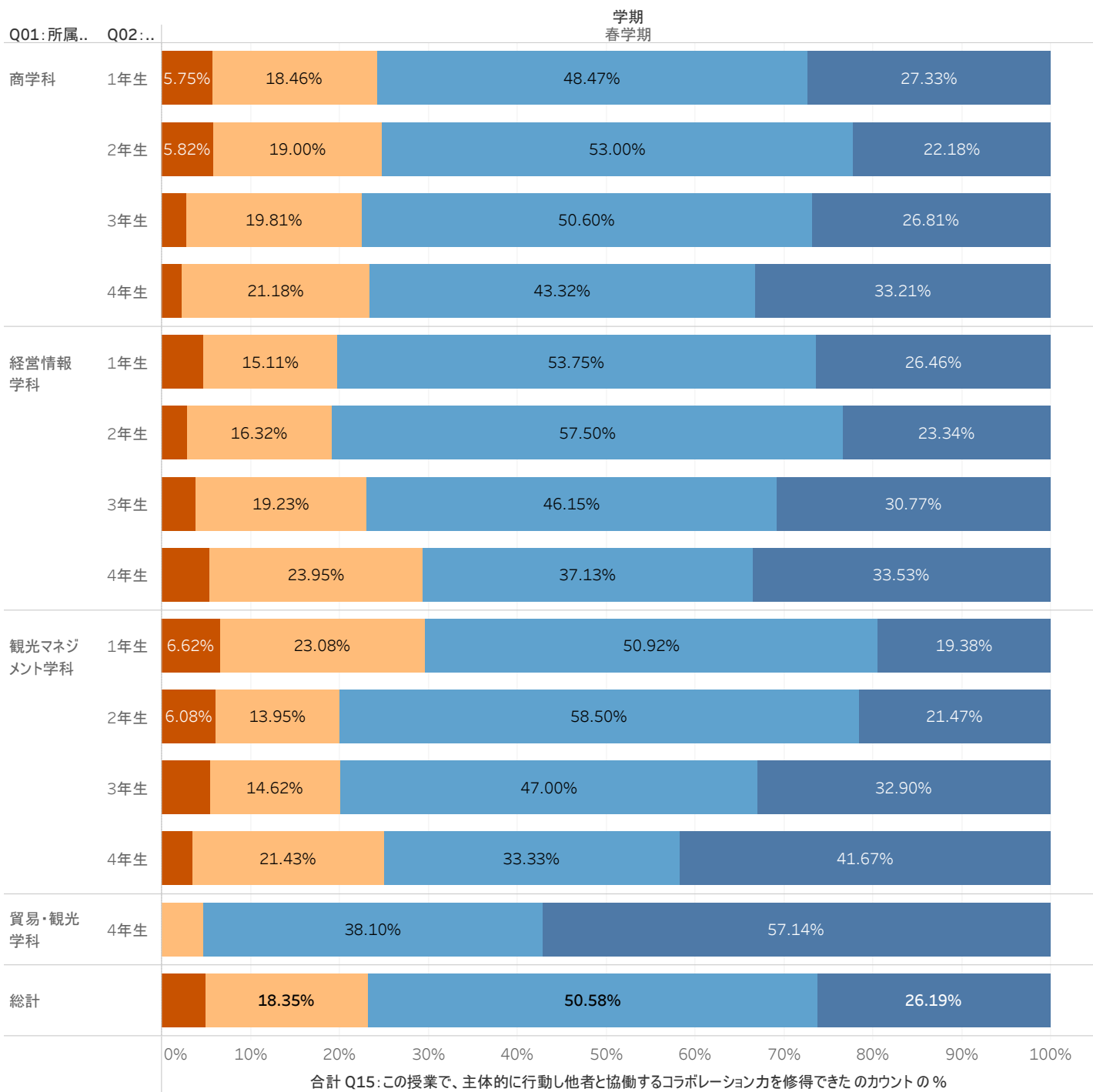
Q14:この授業で、社会への貢献を志し、良き市民、将来の良きビジネスパーソンとして行動する力を修得できた



Q14:この授業で、社会への貢献を志し、良き市民、将来の良きビジネスパーソンとして行動する力を修得できた

- とてもそう思う
- そう思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

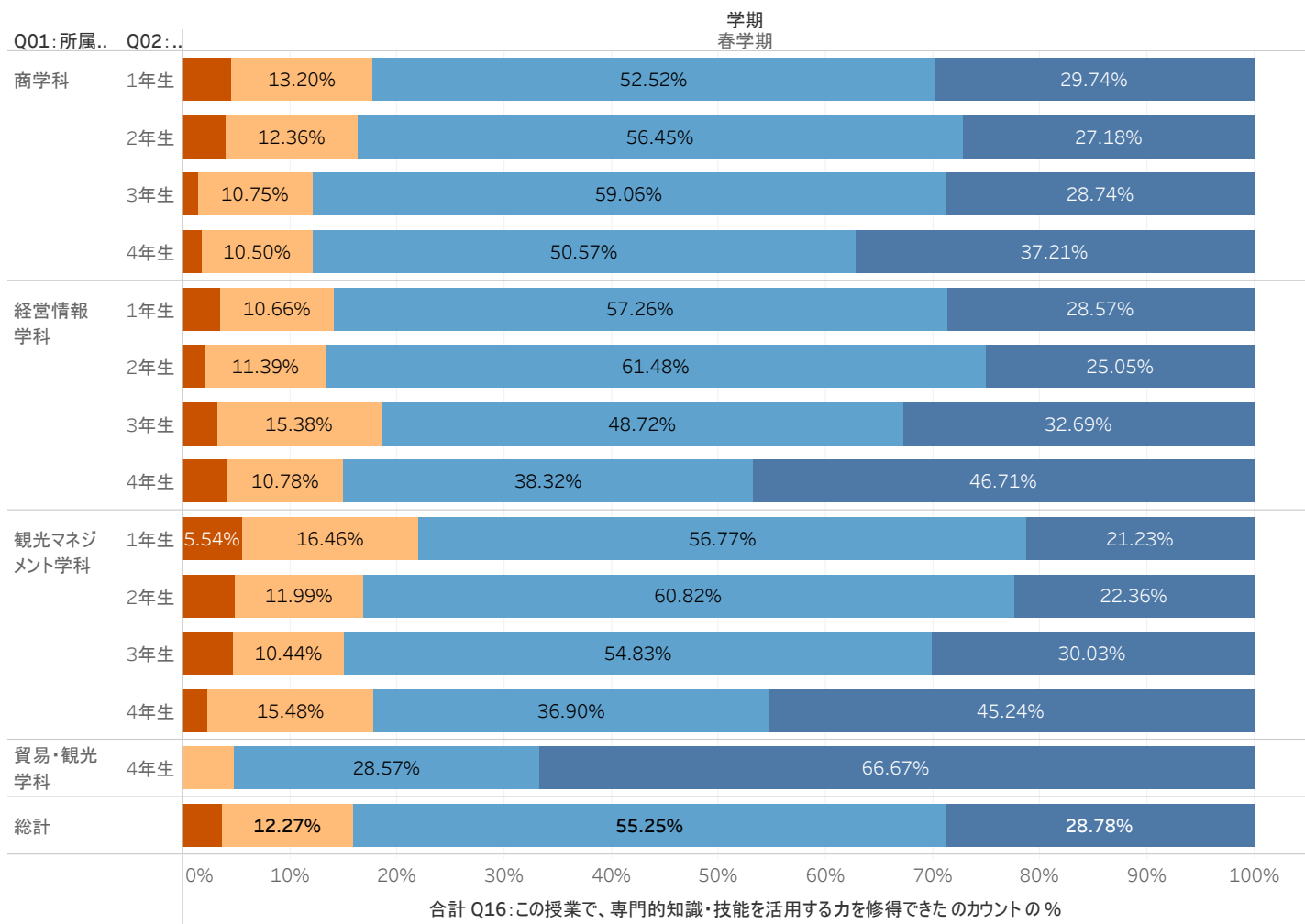
Q15:この授業で、主体的に行動し他者と協働するコラボレーション力を修得できた



Q15:この授業で、主体的に行動し他者と協働するコラボレーション力を修得できた

- とてもしよう
- しよう
- そう思わない
- まったく思わない

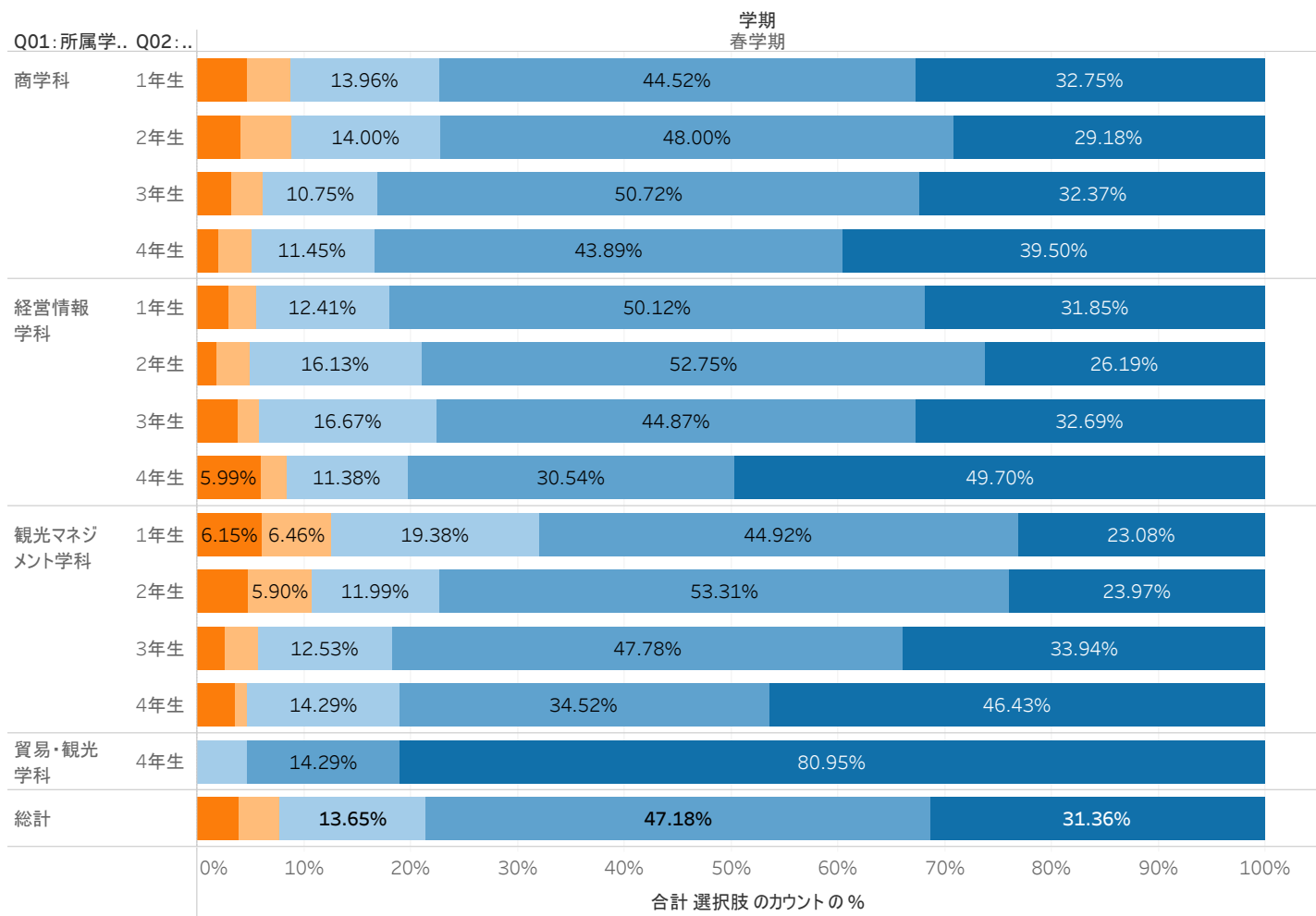
Q16:この授業で、専門的知識・技能を活用する力を修得できた



Q16:この授業で、専門的知識・技能を活用する力を修得できた

- とてもそう思う
- そう思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

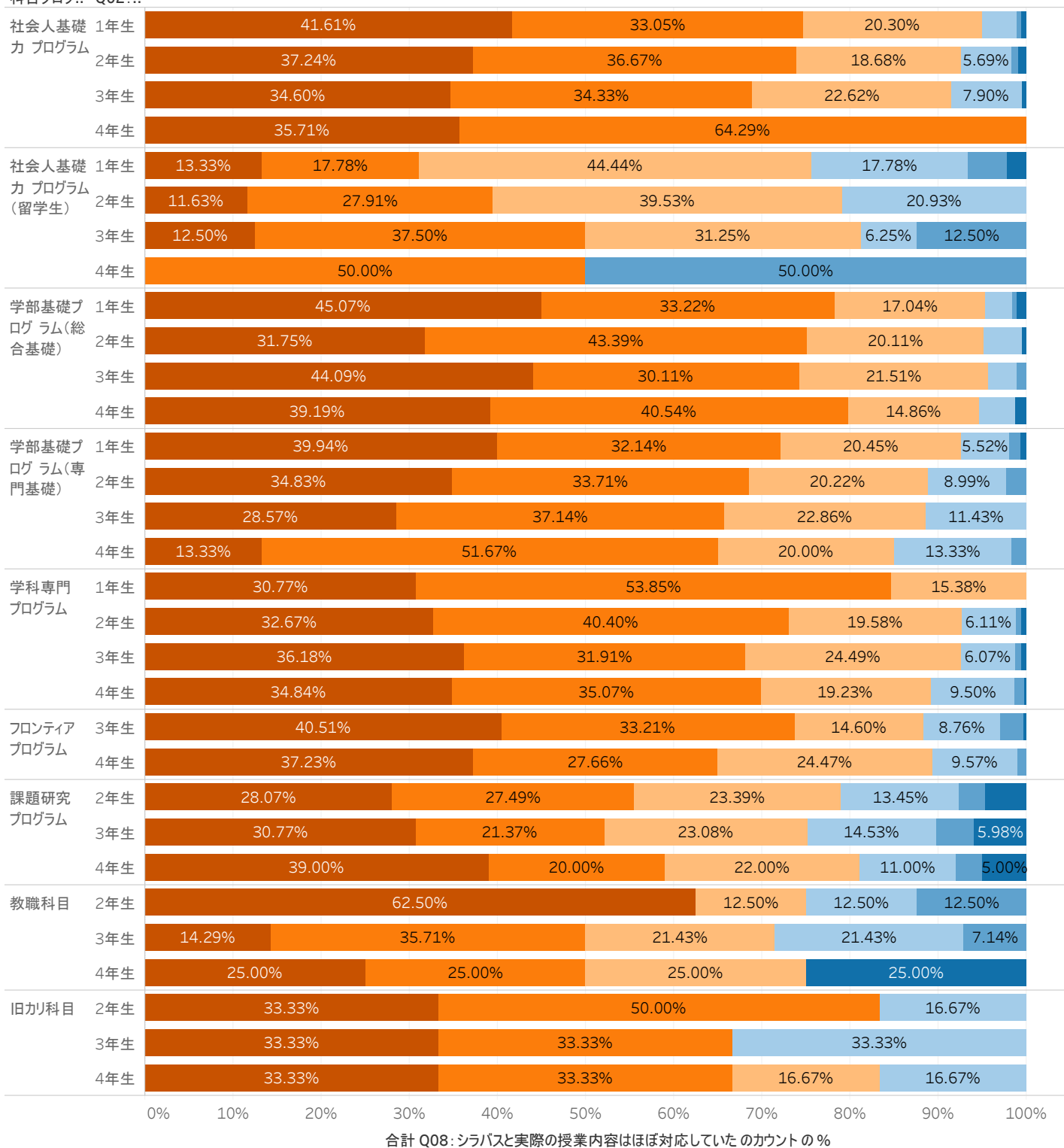
Q17:総合的に判断して、この授業に満足している



- 選択肢
- とても思う
 - そう思う
 - どちらともいえない
 - そう思わない
 - まったく思わない

科目プログラム学年別Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間当たり)は?

科目プログ.. Q02:..



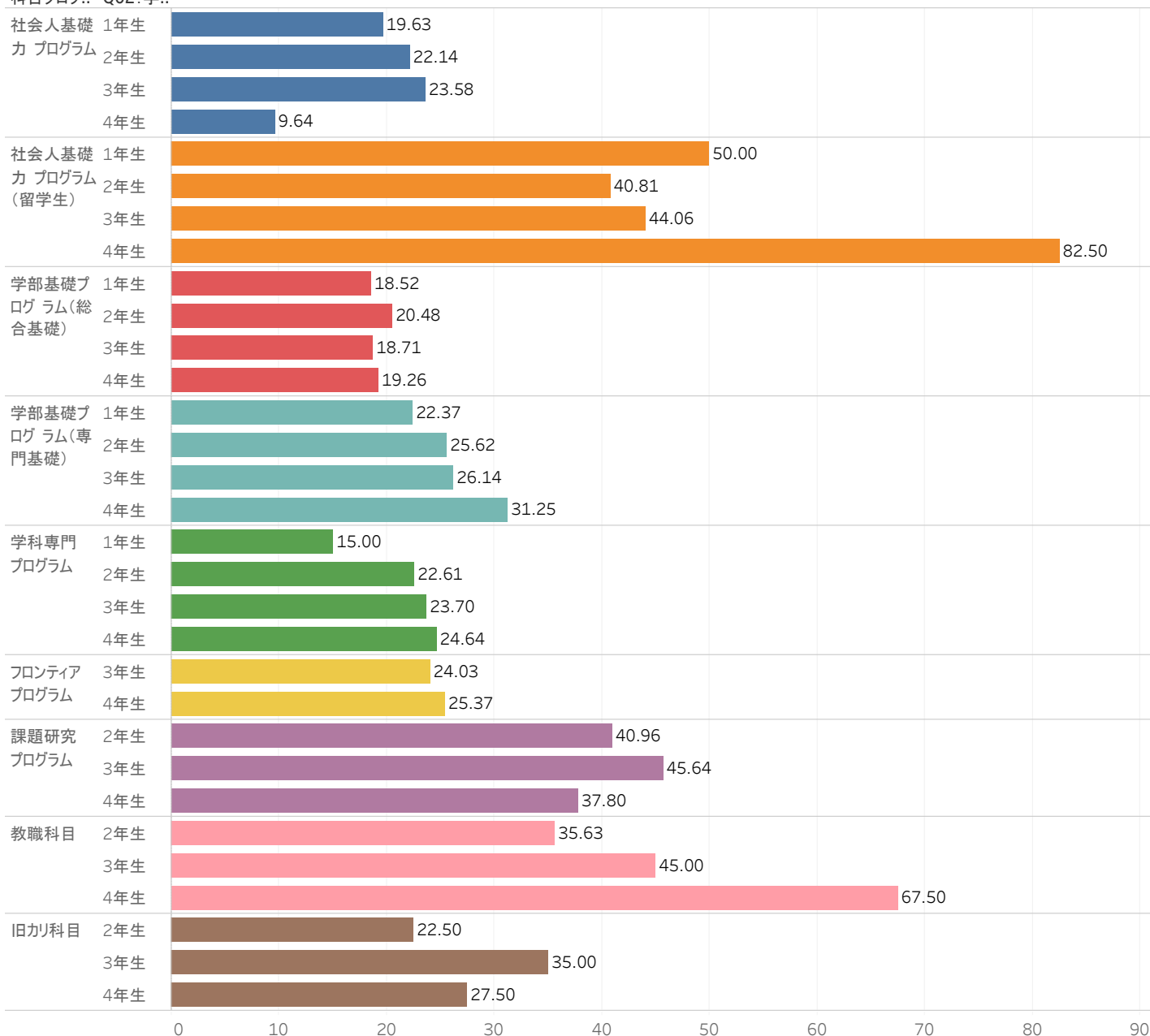
合計 Q08: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していたのカウンの%

Q10: あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間当たり)は?

- 3時間以上
- 2時間~3時間未満
- 1時間~2時間未満
- 30分~1時間未満
- 30分未満
- 全くしなかった

科目プログラム学年別Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は？(分)

科目プログ.. Q02:学..

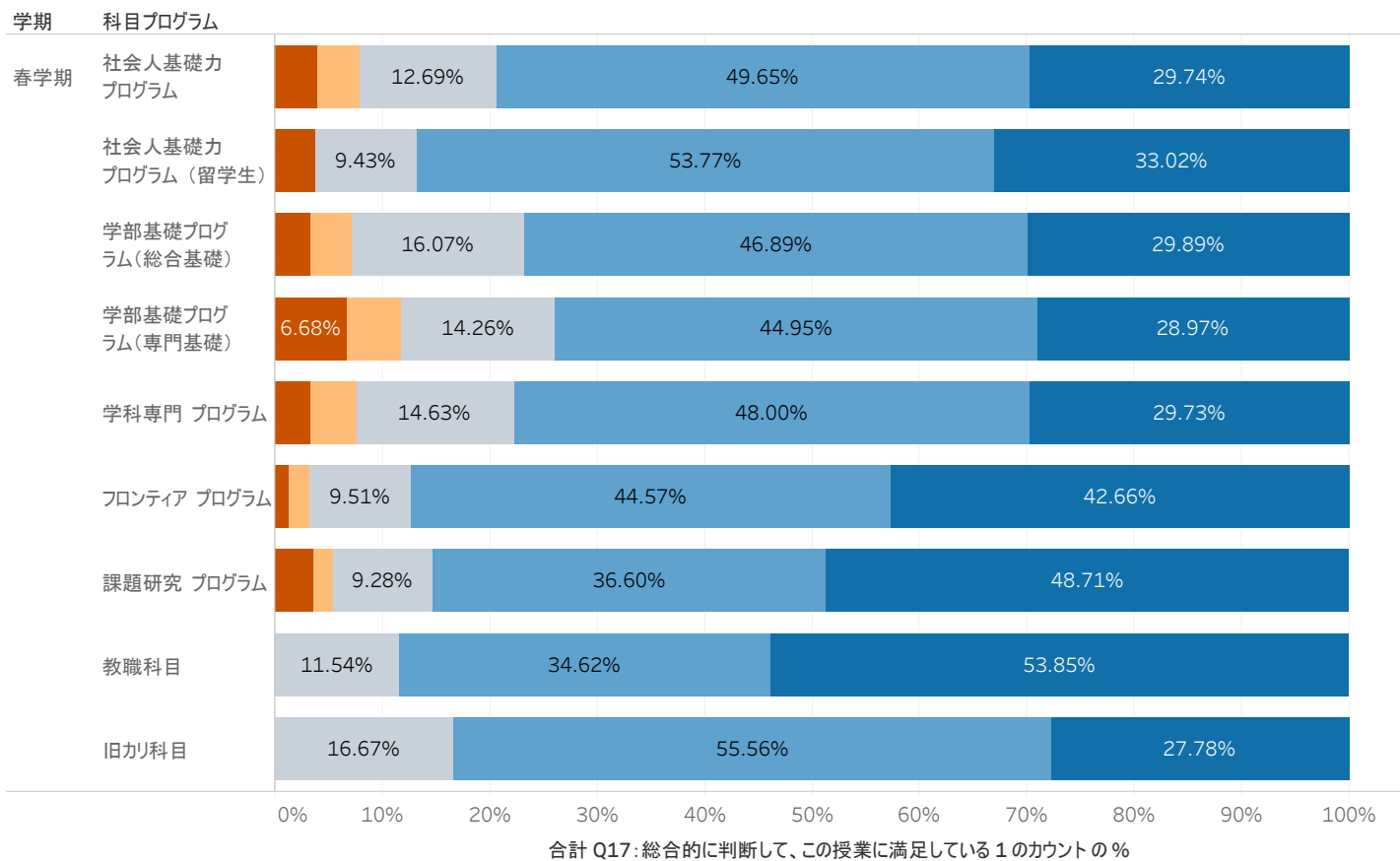


平均 Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は？(分)

科目プログラム

- 社会人基礎力 プログラム
- 社会人基礎力 プログラム (留学生)
- 学部基礎プログラム(総合基礎)
- 学部基礎プログラム(専門基礎)
- 学科専門 プログラム
- フロンティア プログラム
- 課題研究 プログラム
- 教職科目
- 旧カリ科目

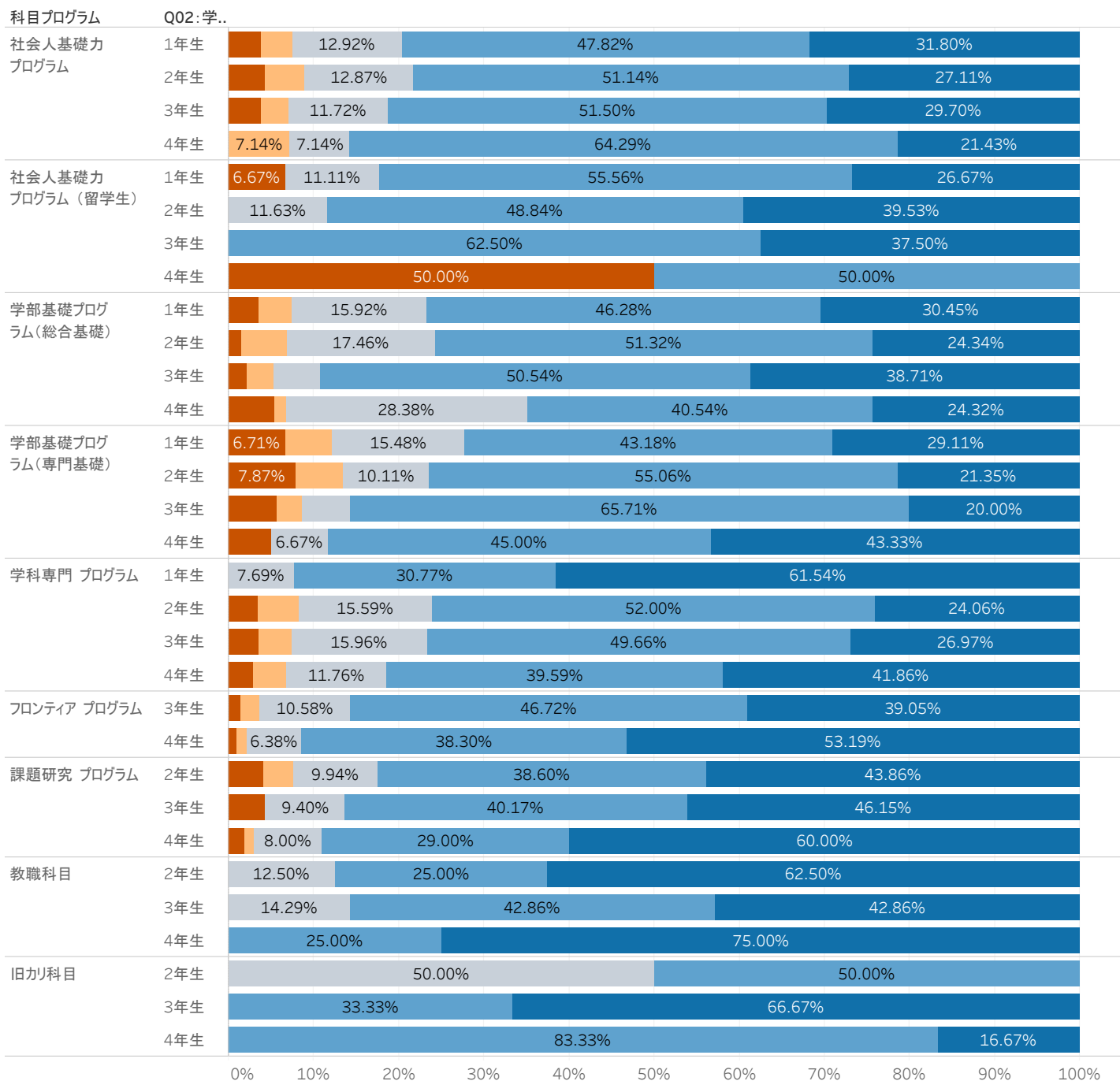
科目プログラム別Q17:総合的に判断して、この授業に満足している



Q17:総合的に判断して、この授業に満足している 1

- とともそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- まったくそう思わない

科目プログラム学年別Q17:総合的に判断して、この授業に満足している



合計 Q17:総合的に判断して、この授業に満足している1のカウントの%

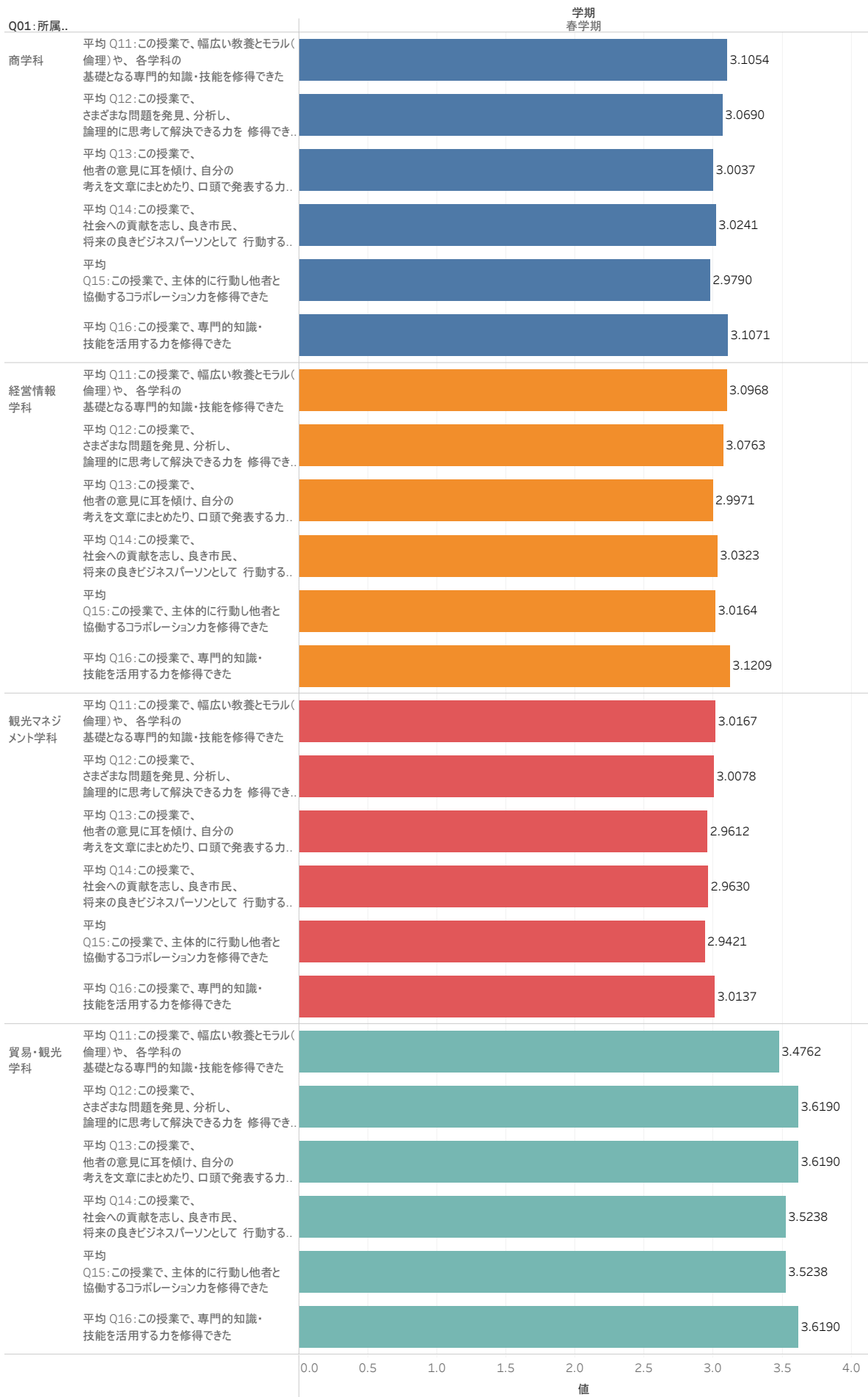
Q17:総合的に判断して、この授業に満足している1

- とても思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- まったく思わない

Ⅲ. 付録：分析別グラフ

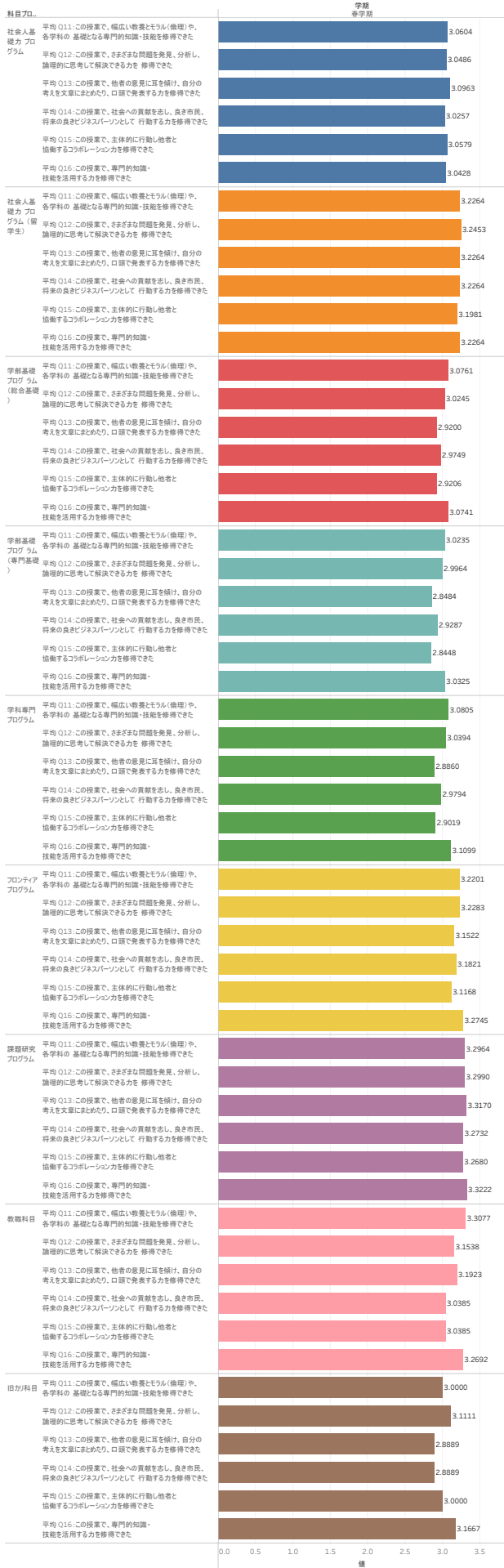
1. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（学科別）
2. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（科目プログラム別）
3. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（学年別）
4. 設問 17：総合満足度別評価点分布（春学期）
5. 設問 10：授業外学修時間別評価点分布（春学期）
6. 設問 10：科目プログラム別 授業外学修時間別評価点分布（春学期）

Q11-Q16: デイプロマ・ポリシー (学科別)



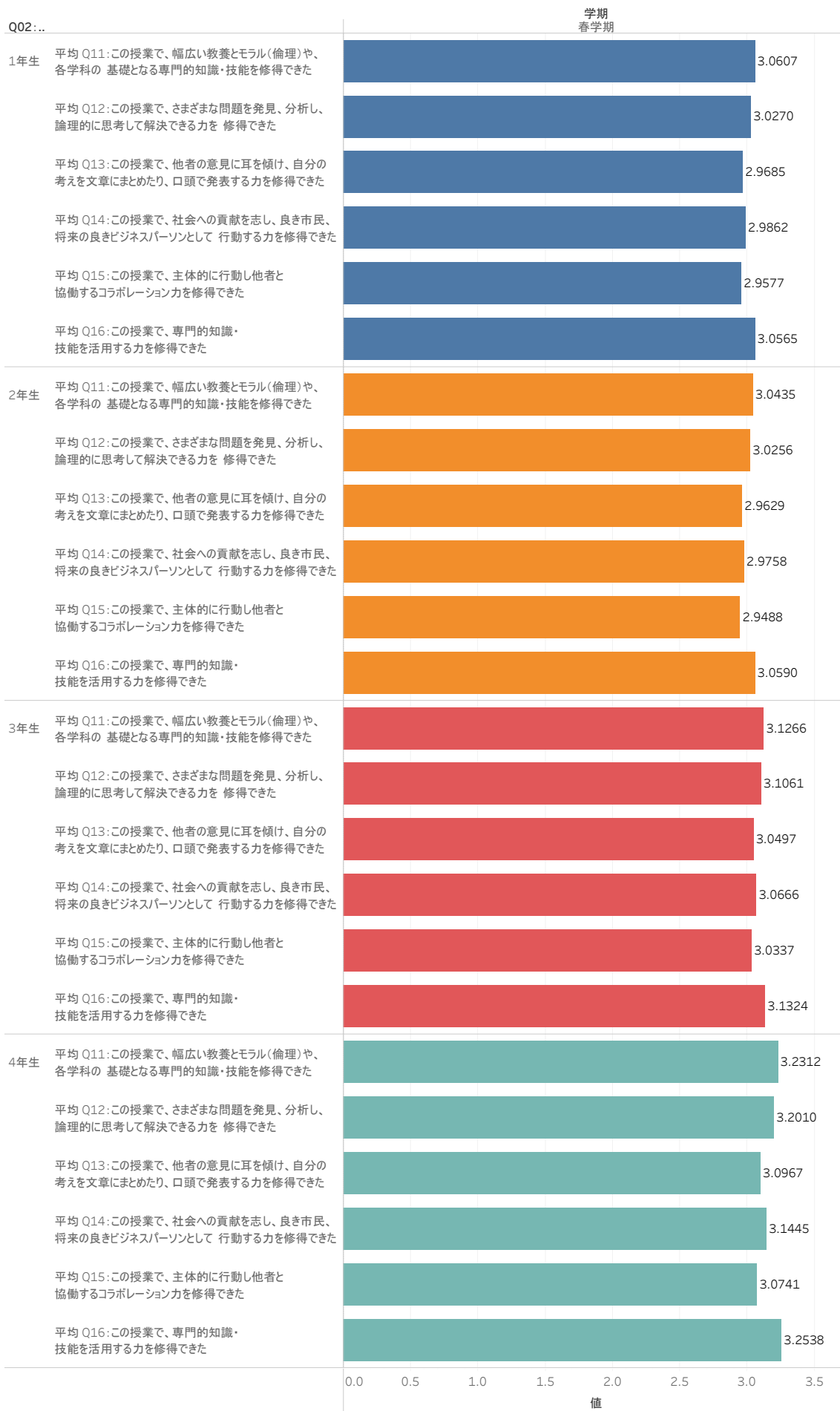
Q01: 所属学科
■ 商学科
■ 経営情報 学科
■ 観光マネジ メント学科
■ 貿易・観光 学科

Q11-Q16: ティプロマ・ポリシー(科目プログラム別)



- 科目プログラム
- 社会人基礎力プログラム
- 社会人基礎力プログラム(留学生)
- 学部基礎プログラム(総合基礎)
- 学部基礎プログラム(専門基礎)
- 学部専門プログラム
- フロンティアプログラム
- 課題研究プログラム
- 教職科目
- 旧が科目

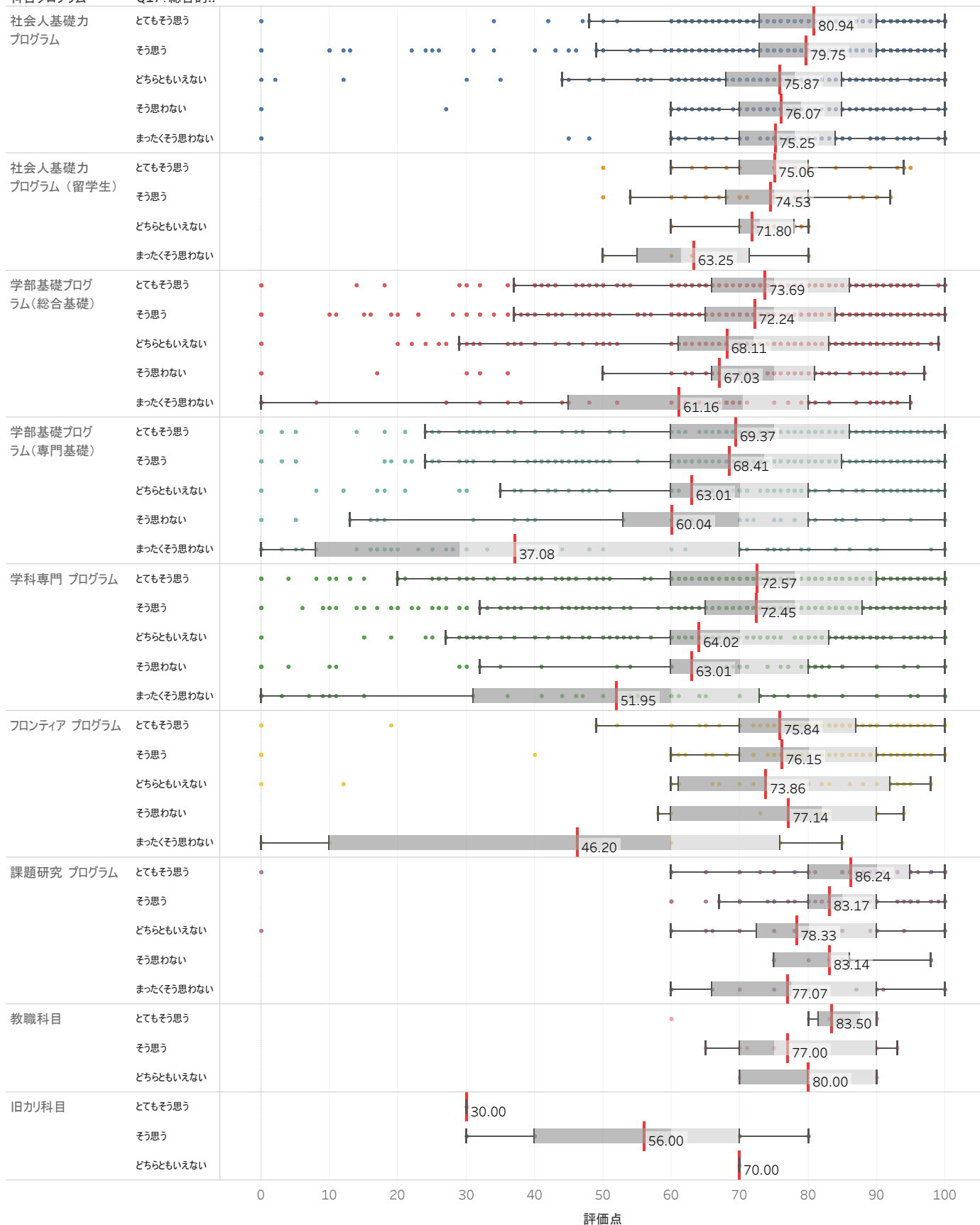
Q11-Q16: ディプロマ・ポリシー（学年別）



Q02: 学年
■ 1年生
■ 2年生
■ 3年生
■ 4年生

Q17:総合満足度別評価点分布(春学期)

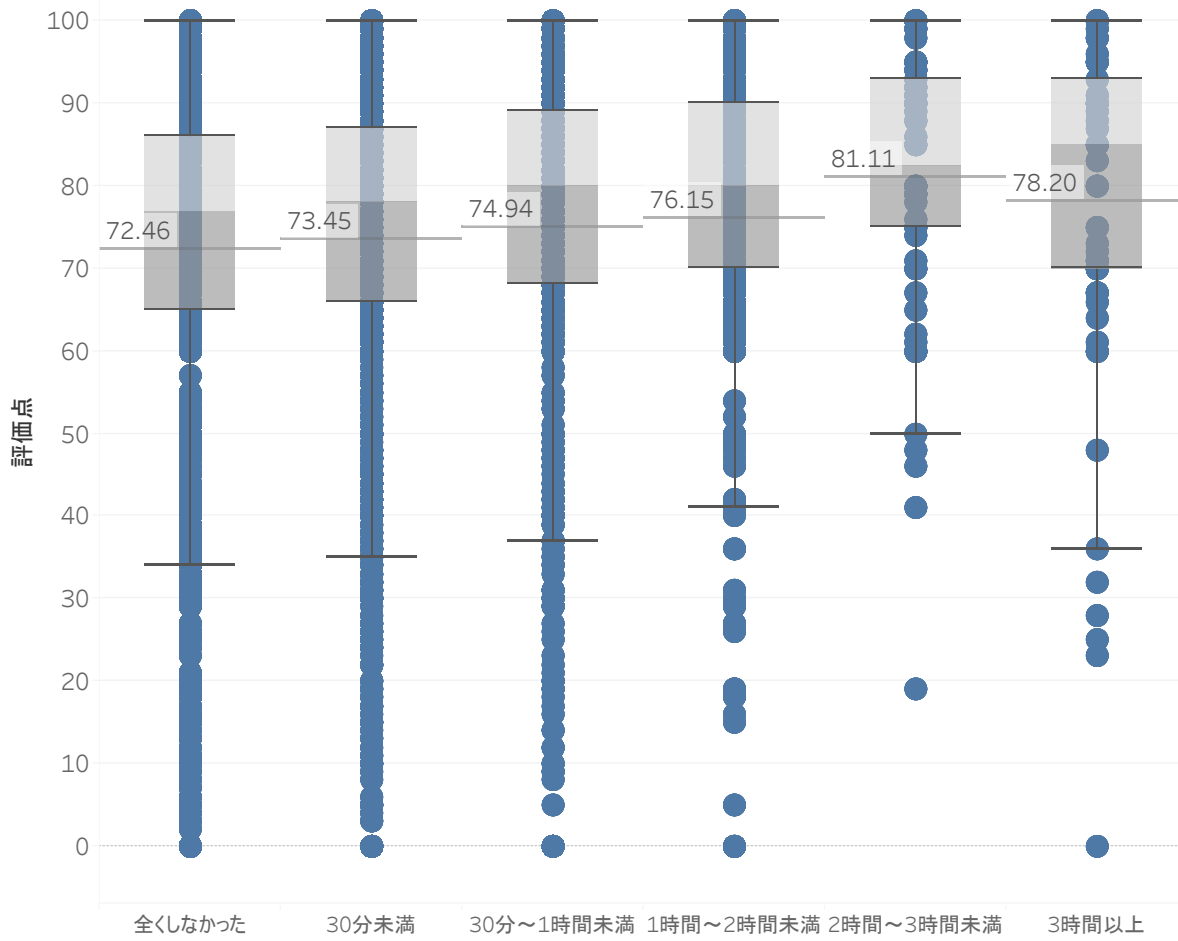
科目プログラム Q17:総合的..



- 社会人基礎力プログラム
- 社会人基礎力プログラム(留学生)
- 学部基礎プログラム(総合基礎)
- 学部基礎プログラム(専門基礎)
- 学科専門プログラム
- フロンティアプログラム
- 課題研究プログラム
- 教職科目
- 旧カリ科目

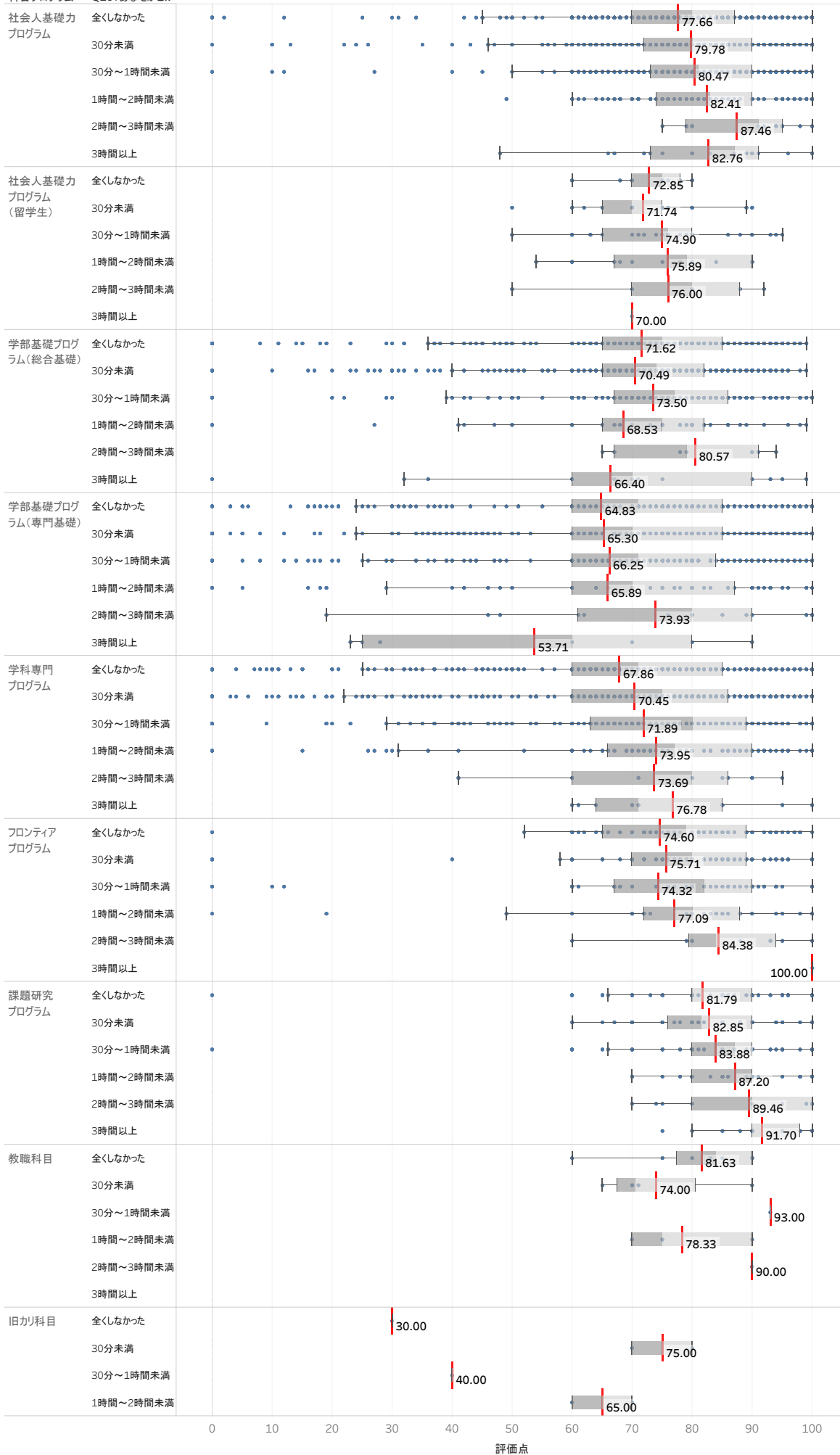
Q10: 授業外学習時間別評価点分布(春学期)

Q10: あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は？



Q10:科目プログラム授業外学習時間別評価点分布(春学期)

科目プログラム Q10:あなたがこ..



評価点

■2018（平成 30）年度 横浜商科大学 IR 委員会

小林雅人 学長（委員長・担当理事）

貫洞玲子 管理本部長・管理本部 IR・情報メディア部事務部長

成田信市 学務本部長

井上富美子 学務本部学生総合支援部教務・国際交流担当事務部長

大関充男 学務本部学生総合支援部学生支援担当事務部長

村澤裕一 学務本部キャリア支援部事務部長

一澤佐江子 学務本部アドミッション・広報部事務部長

野口幸子 学務本部学術・地域連携部事務部長

田尻慎太郎 管理本部 IR・情報メディア部 IR 課室長（商学部観光マネジメント学科准教授）

柳田義継 教授（商学部経営情報学科教授・教務専門部会長）

藤山みずほ 管理本部 IR・情報メディア部 IR 課

安部智子 管理本部 IR・情報メディア部 IR 課

■学務本部学生総合支援部教務課

井上富美子 学務本部学生総合支援部教務・国際交流担当事務部長

鳴島努 学務本部学生総合支援部教務課・国際交流課

森永由佳 学務本部学生総合支援部教務課

学 生 に よ る 授 業 評 価

授 業 評 価 アンケート報告書

－2018（平成 30）年度春学期調査－

2018（平成 30）年発行

編 集 横浜商科大学管理本部 IR・情報メディア部 IR 課

発行所 〒230-8577

神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

横浜商科大学 IR 委員会

横浜商科大学学務本部

電話 045-571-3901(代)

mail ir-office@shodai.ac.jp

無断で複写・転載することを禁じます。